

相模原市市営墓地基本計画改定版（案）

相 模 原 市

まえがき

本市は、これまで中央区の柴胡が原霊園、南区の峰山霊園において、墓地を供給してきました。特に峰山霊園においては、平成 2 年度からの墓地供給に当たって、市営峰山霊園整備基本構想を策定し、平成 14 年度に同基本構想を改定しながら適正な数の墓地を供給してきました。

その後、変化する社会情勢への対応、市町合併後の新たな相模原市に即した今後の市営墓地の在り方等を検討すべく、平成 24 年度に相模原市市営墓地の在り方検討委員会（学識経験者 4 名及び市民公募 2 名の 6 名で構成。平成 23 年 8 月に設置した相模原市市営墓地に関するあり方検討会が前身）を設置し、同委員会で市営墓地の整備に関し、検討を行いました。

相模原市市営墓地の在り方検討委員会からは、墓地の効率的な活用の推進、既存墓地再整備と省スペース化等の本市が目指すべき墓地の方向性、市民アンケート調査の必要性等が報告され、その報告内容を踏まえ、平成 25 年度に市民アンケート調査を行いました。

こうした経過の中、相模原市市営墓地の在り方検討委員会の報告及び平成 25 年度の市民アンケート調査の結果を踏まえ、墓地を必要とする市民の増加や、社会情勢の変化等に対応するため、市営墓地の目指すべき方向性、果たすべき役割及び基本方針を定め、長期的視点に立った相模原市市営墓地における整備の基本計画として、平成 26 年度に相模原市市営墓地基本計画（以下「本計画」という。）を策定しました。

現在、民営墓地の状況、墓地に対する市民の意識が計画策定時と比べて変化しています。具体的には市民の墓地需要の高まりを期待する民営事業者の動きによる市内及び近隣自治体における民営墓地の大幅な増加や、承継者の問題、埋蔵せずに散骨を希望する方が増加傾向にあることなどです。

このような墓地需要の変化を把握し、適切に対応するため、令和 4 年度に改めて市民アンケート調査を実施しました。

本市は、相模原市市営墓地の在り方検討委員会の報告及び令和 4 年度の市民アンケート調査の結果を基に、本計画を改定することとしました。

目 次

第1章 計画策定の経緯と目的

1 計画策定の経緯	1
2 計画策定の目的	1
3 計画の位置付け	2
4 計画期間	2

第2章 市営墓地、民営墓地の現況

1 市営墓地の現況	3
（1）柴胡が原霊園の現況	3
（2）峰山霊園の現況	5
2 相模原市内及び近隣自治体の民営墓地の状況	9

第3章 墓地ニーズの調査・検討状況

1 市民アンケート調査の結果	11
（1）墓地取得の必要性	11
（2）希望する墓地の運営形態	11
（3）市民が望む墓地の形状	11
（4）墓地と一緒に入りたい人	11
（5）自由意見	12
2 相模原市市営墓地の在り方検討委員会の報告	12
3 民営墓地へのアンケート調査の結果	12

第4章 市営墓地の必要性と墓地需要

1 市営墓地の必要性	13
2 相模原市内における墓地の需要数	14
3 市営墓地の需要数	16

第5章 市営墓地の基本方針

1 市営墓地の目指すべき方向性	17
（1）墓地の効率的な活用の推進	17
（2）既存墓地再整備と省スペース化	17
（3）公園墓地としての機能充実	17
2 市営墓地が果たすべき役割	18
（1）持続的な墓地の供給	18
（2）誰もが利用できる墓地の供給	18
（3）特性を生かした墓地の整備	18
3 基本方針	18

第6章 整備する墓地の形状と区画数

1 整備する墓地の形状	19
（1）合葬式墓所	19
（2）一般墓所	20
2 整備する墓地の区画数	21

第7章 整備計画

1 整備する箇所	22
2 整備費と使用料	25
3 具体的な整備内容	25
（1）合葬式墓所	25
（2）駐車場	25
（3）その他	25
（4）今後のスケジュール	27

第8章 改定前の本計画において検討課題としていた事項

1 墓石付芝生墓所（期限付墓所）の導入についての課題	28
2 柴胡が原霊園についての課題	28

参考資料	29
------	----

第1章 計画策定の経緯と目的

1 計画策定の経緯

本市は、平成14年度に計画期間を平成14年度から令和13年度までとした「改定 市営峰山霊園整備計画 基本構想」を策定しました。

平成元年から平成22年までの峰山霊園の墓地整備で一般墓所は7,548区画、合葬式墓所は5,000体分を整備し、これに伴う公募で平成27年3月までに一般墓所は全9期で7,548区画を、合葬式墓所は全3期で1,200体分を供給してきました。

平成14年度の基本構想策定に当たって、墓地に関する市民アンケート調査を行い、その後、平成19年度に「相模原市営霊園整備調査」、平成23年度に「市政に関する世論調査」の中で墓地に関する市民アンケート調査を行い、変化する墓地需要の動向を把握してきました。

変化している社会情勢や墓地に対する考え方への対応、高まる墓地需要への対応、また平成18年及び平成19年の市町合併後の新たな相模原市に即した今後の市営墓地の在り方を検討すべく、平成24年度に相模原市市営墓地の在り方検討委員会（平成23年8月に設置した有識者と市民委員で構成される相模原市市営墓地に関するあり方検討会が前身）を設置し、同委員会で今後の市営墓地整備に関する検討が行われました。この委員会においてアンケート調査の必要性が提案されたことを踏まえ、平成25年度に「相模原市営霊園整備調査」を行いました。

2 計画策定の目的

本計画は、平成14年度に策定した「改定 市営峰山霊園整備計画 基本構想」の要素を取り入れ、同基本構想策定後の社会情勢の変化に対応し、平成25年度に実施した調査による墓地需要、相模原市市営墓地の在り方検討委員会の提言及び現在の市営墓地の供給状況を基に、長期的視点に立った相模原市営墓地における整備の基本計画策定を目的とします。

※墓地・墓所

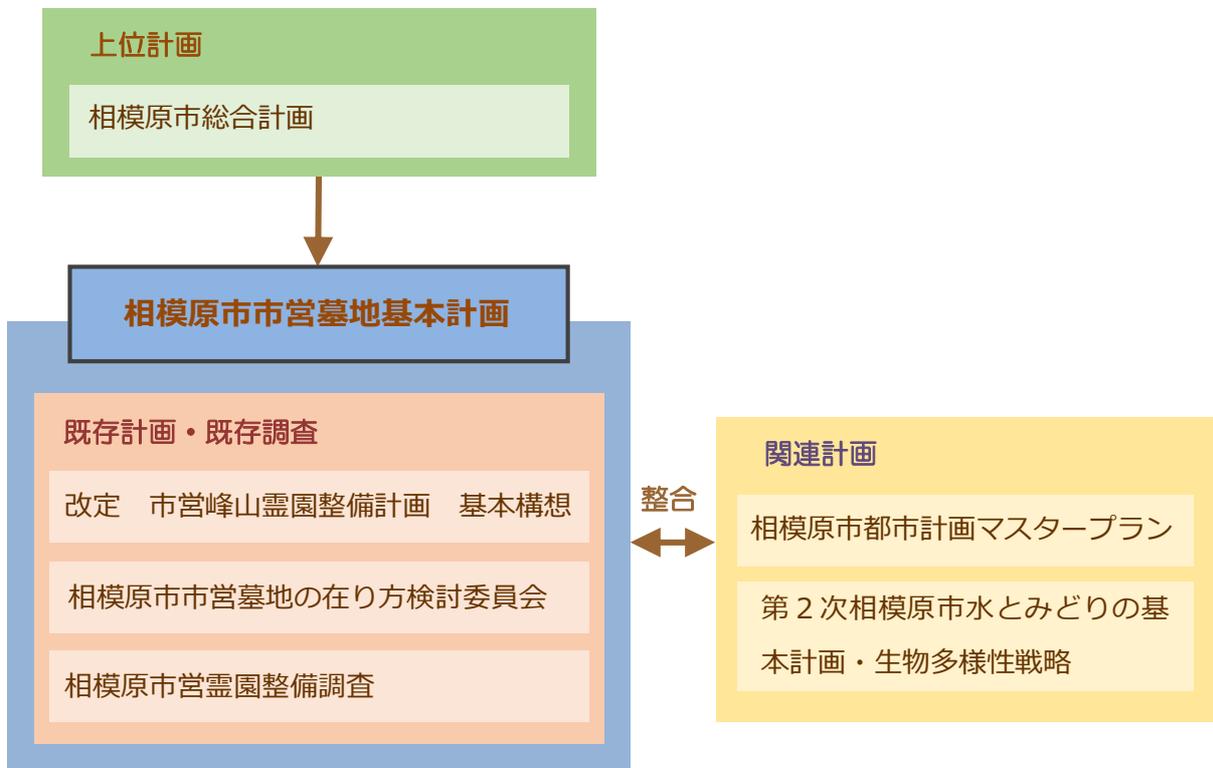
一般的には、お墓が設けられる区域を「墓地」、個々にお墓が建っている場所を「墓所」としますが、本計画においては、両者を統一的に「墓地」と定義します（個別名称は除きます。）。

3 計画の位置付け

本計画は、「改定 市営峰山霊園整備計画 基本構想」を見直し、その要素を取り入れ、相模原市総合計画の部門別計画に位置付けられるとともに、相模原市市営墓地の在り方検討委員会の報告等を踏まえ、市営墓地における基本計画として、今後進めていく墓地の整備に関する基本方針及び整備計画を定めるものです。

また、第2次相模原市水とみどりの基本計画・生物多様性戦略等の関連する計画との整合を図ります。

上位・関連計画の中で、本計画は以下のような位置付けとなります。



4 計画期間

計画の期間は、平成 27 年度から令和 11 年度までの 15 年間です。

なお、市民の市営墓地に対するニーズ、墓地需要の変化等を把握の上、令和5年度に中間見直しを行うものとしていたことから、令和5年度から令和 11 年度までの 7 年間の計画期間について次章以降の見直しを行いました。

第2章 市営墓地、民営墓地の現況

1 市営墓地の現況

これまで本市は、市営墓地として柴胡が原霊園、峰山霊園の2箇所を整備してきました。ここでは、両霊園の現況を確認します。

(1) 柴胡が原霊園の現況

ア 柴胡が原霊園の概要

- 所在地
相模原市中央区
南橋本3丁目17番1



*この背景地図等データは、国土地理院の電子国土 Web システムから配信されたものです。

○施設の概要

種別	霊園
管理面積	1.01 h a
供用開始	昭和 25 年（旧相原村墓地に隣接する区画整理地に相模原町営墓地として設置）
総区画面積	5,778.69 m ² （整備完了）

イ 墓地供給状況

○墓地の区画面数等（令和5年4月1日現在）

墓地の種別	使用期間	区画面積	供用区画面数
普通墓所	永年	3.1 m ² ~19.8 m ²	752 区画

○使用料（カロート設置費用は含まず）及び年間管理料

墓地の種別	使用期間	区画面積	使用料	年間管理料	
				市内	市外
普通墓所	永年	3.1 m ² ~ 19.8 m ²	96,000 円/m ²	500 円/m ²	750 円/m ²

※年間管理料は、使用者が市外に居住する場合、5割増しとなります。

○その他

昭和 25 年開設当時の区画整理により移転した個人墓地 23 区画及び無縁没者供養塔（本市生活福祉課所管）が存在します。

○平面図



(2) 峰山霊園の現況

ア 峰山霊園の概要

○所在地

相模原市南区

磯部 4573 番地 2



*この背景地図等データは、国土地理院の電子国土 Web システムから配信されたものです。

○施設の概要

種別	霊園
整備済面積	15.00ha (公園面積 12.3ha 墓域面積 2.7ha)
供用開始	平成 2 年 10 月
都市計画決定	昭和 55 年 12 月 (16 ha)

イ 墓地供給状況

○墓地の区画数等 (令和 5 年 4 月 1 日現在)

一般墓所

墓地の種別	使用期間	区画面積	供用区画数
普通墓所	永年	4 m ²	1,776 区画
		2.5 m ²	956 区画
芝生墓所	永年	4 m ²	3,023 区画
		2.5 m ²	1,401 区画
墓石付芝生墓所	10 年	2.5 m ²	392 区画
合計			7,548 区画

合葬式墓所

墓地の種別	使用期間	区分	整備体数	埋蔵数
慰霊碑型合葬式墓所	永年	1 体用	5,000 体	646 体
		2 体用		1,826 体
樹林型合葬式墓所	永年	1 体用	5,000 体	130 体
		2 体用		324 体
合計				2,926 体

○使用料（カロート設置費用を含む）及び年間管理料

墓地の種別	使用期間	区画面積	使用料	年間管理料 市内	年間管理料 市外
普通墓所	永年	4 m ²	606,000 円	6,500 円	9,750 円
		2.5 m ²	445,000 円	4,500 円	6,750 円
芝生墓所	永年	4 m ²	606,000 円	6,500 円	9,750 円
		2.5 m ²	445,000 円	4,500 円	6,750 円
墓石付芝生墓所	10 年	2.5 m ²	189,000 円	4,500 円	6,750 円
慰霊碑型合葬式墓所	永年		90,000 円 (1 体につき)		
樹林型合葬式墓所	永年		92,000 円 (1 体につき)		

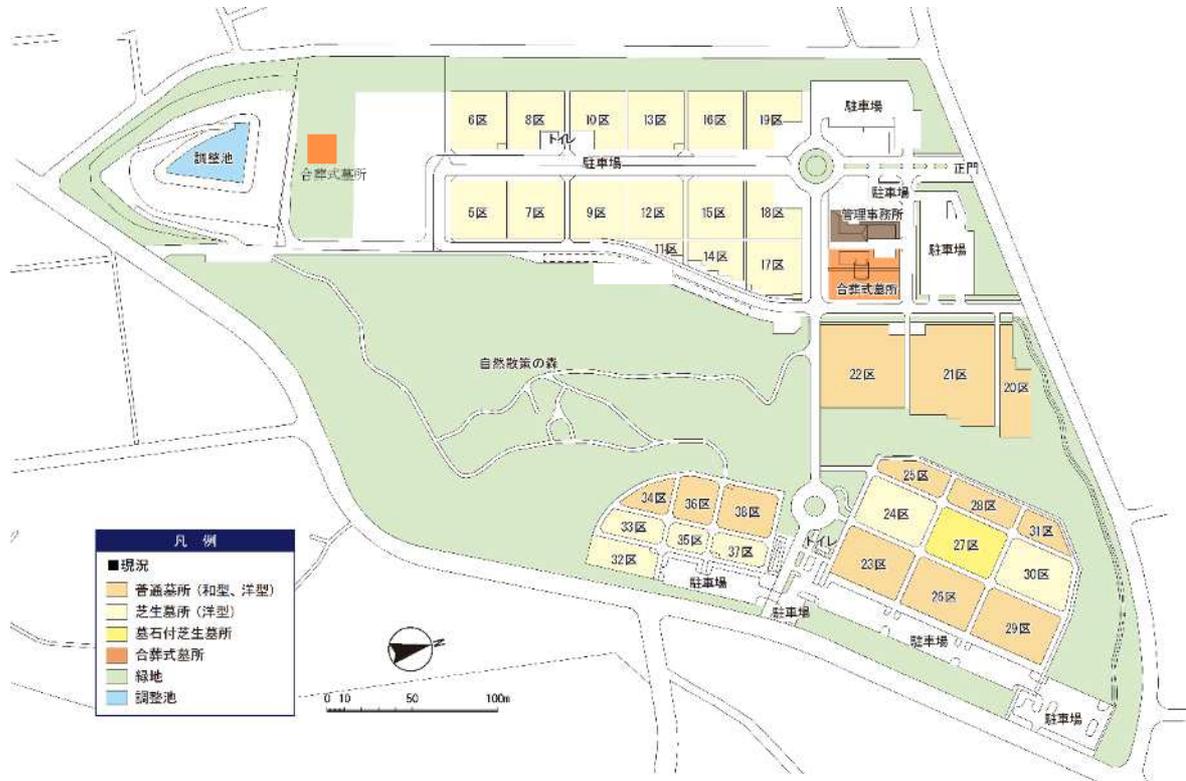
※墓石付芝生墓所の使用期間を更新する際の使用料は、使用者が市外に居住する場合、5割増しとなります。

※年間管理料は、使用者が市外に居住する場合、5割増しとなります。

※合葬式墓所は、年間管理料がかかりません。

※合葬式墓所の最大埋蔵数は5,000体ですが、埋蔵室の埋蔵可能数は2,500体です。詳しくは第6章をご参照ください。

○平面図



ウ 峰山霊園の公募状況

峰山霊園の公募状況を見ると一般墓所については、平成25年度第9期整備区画の公募を行い、その後は返還された墓所の公募のみを行っています。

合葬式墓所については、令和2年度第6期に慰霊碑型合葬式墓所の埋蔵室が満量になり、令和3年度からは樹林型合葬式墓所の公募を開始しています。公募については、1体用と2体用の申込区分があり、それぞれに有骨・生前区分を設け、有骨区分に9割の優先枠を設けていましたが、令和3年度からは生前区分の公募は行っていません。

峰山霊園の整備について、合葬式墓所は、10,000体（5,000区画）埋蔵可能なものを整備し、未公募数は約7,000体（3,500区画）となっています。

○芝生墓所・普通墓所の公募状況

墓地の種別	申込区分	応募状況	
		募集区画数	92区画
芝生墓所（返還墓所） 平成28年度、令和2年度、4年度	有骨区分 のみ	応募数	789名
		平均応募倍率	8.58倍
		募集区画数	34区画
普通墓所（返還墓所） 平成28年度、令和2年度、4年度	有骨区分 のみ	応募数	157名
		平均応募倍率	4.62倍
		募集区画数	34区画

○墓石付芝生墓所の公募状況

墓地の種別	申込区分	応募状況	
		募集区画数	80区画
墓石付芝生墓所 （返還墓所） 平成27年度、令和3年度	有骨区分 のみ	応募数	364名
		平均応募倍率	4.55倍
		募集区画数	80区画

○合葬式墓所の公募状況

墓地の種類別	申込区分	応募状況	
		募集区画数	応募数
慰霊碑型合葬式墓所 (第4期～第6期) 平成28年度～令和2年度	有骨区分	募集区画数	615区画
		応募数	1,112名
		平均応募倍率	1.81倍
	生前区分	募集区画数	67区画
		応募数	2,388名
		平均応募倍率	35.64倍
樹林型合葬式墓所 (第1期、第2期) 令和3年度、4年度	有骨区分	募集区画数	228区画
		応募数	631名
		平均応募倍率	2.77倍

※合葬式墓所は、個人単位の埋蔵のため、2体分で1区画として区画数を計算します。ただし、公募は便宜上、1体用は1体=1区画、2体用は2体=1区画と記載しています。

2 相模原市内及び近隣自治体の民営墓地の状況

相模原市内及び近隣自治体には多数の民営墓地が開設されています。平成25年度と令和4年度の市民アンケート調査を比較すると、市内では2,488区画、近隣自治体の民営墓地を含めると37,395区画増加しています。多くが1㎡前後の一般墓所で、ペットと共に埋蔵ができるなど多様なニーズに対応しています。

地域	平成25年度		地域	令和4年度		増減分(基地数)		増減分(区画数)	
	基地数	区画数合計		基地数	区画数合計	令和4年度	平成25年度	令和4年度	平成25年度
相模原市	5	7,558	[相模原市]	6	10,046	1		2,488	
厚木市	7	10,100	[厚木市]	9	11,920	2		1,820	
伊勢原市	3	2,720	[伊勢原市]	4	3,873	1		1,153	
綾瀬市	2	1,440	[綾瀬市]	5	4,443	3		3,003	
座間市	1	700	[座間市]	4	1,737	3		1,037	
愛川町	3	43,600	[愛川町]	3	42,552	0		-1,048	
町田市	17	28,803	[町田市]	19	40,391	12		11,588	
八王子市	27	66,871	[八王子市]	34	84,225	7		17,354	
合計	65	161,792	合計(仮合計)	84	199,187	29		37,395	
1基地あたり平均区画数		2,489	1基地あたり平均区画数		2,371				1,289
			横浜市	32	52,818				
			川崎市(麻生区)	4	8,958				
			大和市	3	3,513				
			海老名市	4	2,543				
			上野原市	2	500				
			合計	129	267,519				
			1基地あたり区画数		2,074				

※横浜市については、相模原市との距離・交通アクセスを考慮し、「旭区」「緑区」「青葉区」「泉区」を合計しました。

※区画数は、現時点で「墓域」として許可を受けている区画数のため、将来的に「墓域」を拡張し得る用地を有している場合があります。

※上記は令和5年3月に相模原市が公益社団法人全日本墓園協会に委託し調査したものです。

第3章 墓地ニーズの調査・検討状況

1 市民アンケート調査の結果

平成25年度と令和4年度に実施した市民アンケート調査で本計画の改定において参考とした主な結果の比較を示します。

(1) 墓地取得の必要性

回答者の世帯における「新たにお墓を必要としていますか。」との問いに「はい」と回答した人の割合は、平成25年度で25.6%、令和4年度で14.2%でした。このことは、墓地需要が大きく後退したことを示しています。

(2) 希望する墓地の運営形態

令和4年度の市民アンケート調査で「新たにお墓を必要としていますか。」との問いに「はい」と回答した人のうち、「希望する墓地の運営形態」について尋ねたところ、「公営（市営）墓地」と回答した人の割合は76.1%でした。このことは、多くの市民が市営墓地を希望していることを示しています。

(3) 市民が望む墓地の形状

「新たにお墓を必要としていますか。」との問いに「はい」と回答した人のうち、「希望するお墓の形状」について尋ねたところ、「合葬式墓所」と回答した人の割合が平成25年度の5.3%から令和4年度の33.9%と約6.5倍に増加し、「一般墓所（和形・洋型）」と回答した人の割合が平成25年度の52.0%から令和4年度の23.0%に半減しています。

また、市民アンケート調査の回答者全員に「今後、市が整備すべきお墓の形状」について尋ねたところ、「合葬式墓所」と回答した人の割合が平成25年度の18.6%から令和4年度の45.9%と約2.5倍になっています。このことは、新たに希望する墓地の形状が一般墓所から合葬式墓所へ大きく変化していることを示しています。

(4) 墓地と一緒に入りたい人

「お墓と一緒に入りたい人」について尋ねたところ、回答が多かった順は、平成25年度の結果と令和4年度の結果のいずれも同様で、多い順から、「配偶者」と回答した人の割合が平成25年度は57.2%、令和4年度は50.6%、「身近な家族」と回答した人の割合が平成25年度は41.8%、令和4年度は38.9%でした。また、「こだわらない」と回答した人の割合が平成25年度の13.1%から令和4年度は17.9%に増加し、「先祖代々」と回答した人の割合が平成25年度の19.6%から令和4年度は17.7%に減少しました。また、令和4年度の市民アンケート調査の新規項目である「墓

に入るつもりはない」と回答した人の割合は7.6%でした。このことは、相模原市市営墓地の在り方検討委員会の報告にある「従来の先祖代々を祀る「家墓」とは異なる」という内容と合致していることを示しています。

(5) 自由意見

令和4年度の市民アンケート調査においては、「合葬式墓所等」への言及が最も多く17.3%で、その多くが肯定的意見でした。

2 相模原市市営墓地の在り方検討委員会の報告

相模原市市営墓地の在り方検討委員会の報告では、永続的な墓地の供給として、「先ずは市営墓地が墓地需要に対して率先して対応していくという考え方を基本として、市内の民営墓地の供給状況を見つつ、民営墓地に配慮しながらも、市内の墓地需要を全体として適時適切に吸収できるよう、市営墓地が担うべき墓地供給量とその時期を見通し、計画的に実行していくことが必要である。限られた用地の中で、地方公共団体として市民の墓地需要に対する責任を果たすための有効な方策を検討し、実施していく必要がある。」とあります。

また、「合葬式墓所に代表される省スペース型の墓地は、その集約性に伴い従来型墓地と比較して墓地使用料等が低く設定でき、求める側にとっての負担軽減につながることから福祉的な側面を有しており、峰山霊園の既存の合葬式墓所に加え、同様の省スペース型の墓地を今後も整備・供給していくことが望まれる」とあります。

3 民営墓地へのアンケート調査の結果

本計画の改定に当たり改めて調査はしていませんが、平成25年度に相模原市内及び近隣自治体の民営墓地にアンケート調査を行ったところ、「民営墓地は、それぞれの特徴を生かして多様なニーズに対応していくが、市営墓地は最小限の公的な役割を担うべき」「使用料、管理料を抑えて低価格な墓所を供給する役割を担うべき」との回答が得られました。

第4章 市営墓地の必要性と墓地需要

1 市営墓地の必要性

- 墓地の経営主体は、市町村等の地方公共団体が原則であること。（厚生労働省の「墓地経営・管理の指針」）
- 市営墓地が担うべき墓地供給量の整備が必要であること。（相模原市市営墓地の在り方検討委員会の報告）
- 市営墓地の公募が高倍率であること。
- 一般墓所は、市内及び近隣自治体に多数の民営墓地が開設され、その需要を吸収している。

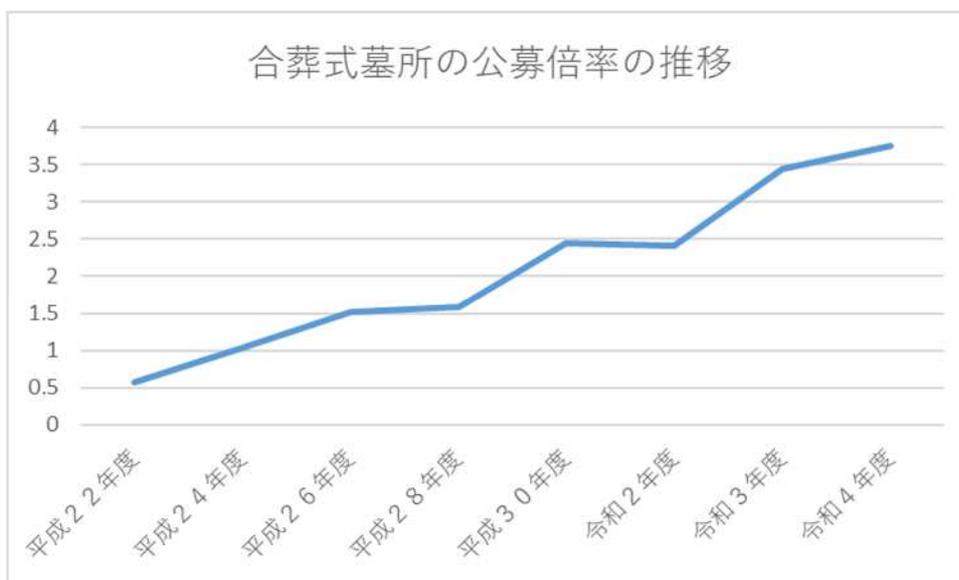
墓地の経営主体については、当時の厚生省の生活衛生局長からの通知（平成12年12月6日生衛発第1764号）で「市町村等の地方公共団体が原則であり、これによりがたい場合であっても宗教法人又は公益法人等に限る」との指針を示すとともに、「持続性の面では地方公共団体の方がより適格性が高いと考えられる」としています。

次に、相模原市市営墓地の在り方検討委員会の報告では、前述のとおり、「まずは市営墓地が墓地需要に対して率先して対応していくという考え方を基本として、市内の民営墓地の供給状況を見つつ、民営墓地に配慮しながらも、市内の墓地需要を全体として適時適切に吸収できるよう、市営墓地が担うべき墓地供給量とその時期を見通し、計画的に実行していくことが必要である」とあり、また、「受益者負担を原則としながらも、市民の経済的負担を軽減するなどの福祉的な視点や、承継者がいなくても安心して墓地を取得できる仕組みの構築、さらには年齢や障害の有無にかかわらず使用できる公共施設としての整備の考え方などを取り入れる必要がある。埋蔵される権利や故人の尊厳に配慮し、その上で、より多くの市民が安心して使用できる墓地形態や墓地整備の検討が望まれる」とあります。

本市における、合葬式墓所の応募倍率は、公募を開始した平成22年度の0.57倍から令和4年度は3.76倍と約6.6倍上昇しており、現状では、必要な需要を満たしていると言え、さらなる整備が必要です。

一方、一般墓所は、市内及び近隣自治体に多数の民営墓地が開設されており、その需要を吸収していると考えられます。

これらのことから、計画期間内の市営墓地の整備については、経済的な負担が少ないこと、無縁墓となるリスクがないこと、また、整備可能な面積に限りがあることなどを踏まえ、一般墓所に比べて少ない整備面積でより多くの埋蔵量を確保することができる合葬式墓所を主体として整備し、一般墓所は、民営墓地の供給状況を見ながら整備していく必要があると考えます。



※平成22年度から令和2年度までは隔年で公募を実施していました。

2 相模原市内における墓地の需要数

• 令和5年度から令和11年度までにおける墓地の需要数は、約3,800世帯（区画）です。

令和4年度の相模原市営墓地需要調査において、市内における今後の墓地需要を把握した結果は次のとおりです。墓地需要の把握に当たっては、平成25年度の調査と同様に「大阪府方式」に基づいて、推計を行いました。

年	死亡者数	定着係数	取得希望世帯率	取得希望世帯数
	A	B	C	D
H25(2013)	5,278	0.8	0.26	1097.82
H26(2014)	5,489	0.8	0.26	1141.71
H27(2015)	5,752	0.8	0.26	1196.42
H28(2016)	5,650	0.8	0.26	1175.20
H29(2017)	6,099	0.8	0.26	1268.59
H30(2018)	6,348	0.8	0.26	1320.38
R01(2019)	6,533	0.8	0.26	1358.86
R02(2020)	6,710	0.8	0.26	1395.68
R03(2021)	7,126	0.8	0.26	1482.21
R04(2022)	8,055	0.8	0.26	1675.44
R05(2023)	7,409	0.73	0.14	757.20
R06(2024)	7,676	0.73	0.14	784.49
R07(2025)	7,944	0.67	0.08	425.80
R08(2026)	8,202	0.67	0.08	439.63
R09(2027)	8,454	0.67	0.08	453.13
R10(2028)	8,694	0.67	0.08	466.00
R11(2029)	8,935	0.67	0.08	478.92

R05-R11合計

3805.16

<取得希望世帯数（墓地需要数）の算定式>

$$\text{ある年度の取得希望世帯数（墓地需要数）（D）} = \text{死亡者数（A）} \times \text{定着係数（B）} \times \text{取得希望世帯率（C）}$$

※「大阪府方式」とは、昭和40年に「墓地現況調査報告書」（大阪府土木部）において、採用された方式です。意識調査、アンケート調査結果等から得られる現居住地への定住性（「定着係数」、墓地の所有状況と求める意思（「取得希望世帯率」）、分家するに伴い、墳墓等を必要とする割合（「傍系世帯率」）、さらには当該年における（推定）死亡者数を考慮して、「必要墳墓数」を求める当該方式は多くの地方公共団体における報告書、計画書において用いられてきた実績があります。

なお、近年の少子化の傾向から、傍系世帯率の予測が困難であるため、新たに墓地を整備する際の根拠となり得る今後の墓地の需要数は、取得希望世帯数としています。

※A「死亡者数」は、令和4年までを実数とし、令和5年以降を令和2年国勢調査に基づく相模原市の将来人口推計（低位ケース）から採用しました。

※B「定着係数」は、市内に住み続けたいと回答した人の率です。令和4年までを平成25年度の市民アンケート調査結果、令和5年と令和6年を令和4年度アンケート調査結果、令和7年以降は国勢調査年を基準に低下率で算出しています。

$$\cdot (\text{低下率}) 0.73 \div 0.80 = 0.9125 \quad \cdot (\text{令和7年以降}) 0.73 \times 0.9125 \approx 0.666 = \text{約} 0.67$$

※C「取得希望世帯率」は、墓地を必要とすると回答した人の率です。令和4年までを平成25年度の市民アンケート調査結果、令和5年と令和6年を令和4年度アンケート調査結果、令和7年以降は国勢調査年を基準に低下率で算出しています。

$$\cdot (\text{低下率}) 0.14 \div 0.26 \approx 0.5385 \quad \cdot (\text{令和7年以降}) 0.14 \times 0.5385 \approx 0.075 = \text{約} 0.08$$

平成26年度に本計画を策定した際には、令和41年度までの長期的な墓地需要の推計を行いました。本改定では、計画期間に焦点を絞り令和11年度までの推計を行いました。

その結果、改定後の本計画の計画期間における令和5年度から令和11年度までの取得希望世帯数は、3,805世帯です。1世帯に1区画の墓地を供給することとした場合、3,805区画が必要となります。

3 市営墓地の需要数

- 市営墓地の需要数は、市内の墓地需要の 76.1%である約 2,900 区画です。

令和4年度の市民アンケート調査で新たに墓地を必要としている世帯のうち、公営（市営）墓地を希望している世帯は、76.1%でした。

この結果から市営墓地の需要数を算出すると、3,805 区画の 76.1%である 2,896 区画となります。

※平成 25 年度の市民アンケート調査においては、上記の調査を行っていません。

第5章 市営墓地の基本方針

1 市営墓地の目指すべき方向性

- ・「墓地の効率的な活用の推進」「既存墓地再整備と省スペース化」「公園墓地としての機能充実」を目指します。

相模原市市営墓地の在り方検討委員会の報告では、「墓地の効率的な活用の推進」「既存墓地再整備と省スペース化」が市営墓地の目指すべき方向性として示されています。

(1) 墓地の効率的な活用の推進

墓じまいや一定期間の経過後に一般墓所に埋蔵されていた遺骨を合葬式墓所などに改葬（共同埋蔵）することで、墓地を供給できる場所が生まれ、それ以降の需要に対応できる循環システムを推進します。例えば、峰山霊園に整備した合葬式墓所はこのシステムを採用しており、遺骨を埋蔵室に20年間骨壺で埋蔵した後、合葬（共同埋蔵）する形式です。また、昨今引き継ぐ人がいなくなった墓地が増加していることを受け、それらの墓地を速やかに再整備し、需要に対応します。

(2) 既存墓地再整備と省スペース化

増加する墓地需要に対して、既存墓地の再整備による墓域の拡大を行うこと及び土地の有効活用をより図ることができる省スペースな墓地の形状の採用をします。増加する墓地需要に対応するために新たな市営墓地の用地を確保し、整備する場合には多くの時間と費用が必要です。このため、当面の増加する墓地需要に対して、既存墓地再整備と省スペース化を進めていく必要があります。

(3) 公園墓地としての機能充実

これまでの施設整備では、マイナスのイメージで捉えられがちな墓地空間を、本来の安息・祈りの場としての墓地機能に、景観形成や環境保全、散策などのレクリエーションや防災の公園機能を加えることで緑豊かなコミュニティの場としての機能の充実に取り組みます。今後の墓地の整備に当たっては、ユニバーサルデザイン等に配慮した施設整備と管理を行っていく必要があります。

2 市営墓地が果たすべき役割

- 「永続的な墓地の供給」「誰もが利用できる墓地の供給」「特性を生かした墓地の整備」を市営墓地が果たすべき役割とします。

相模原市市営墓地の在り方検討委員会の報告では、「永続的な墓地の供給」「誰もが利用できる墓地の供給」が市営墓地の果たすべき役割として示されています。

(1) 永続的な墓地の供給

市民の墓地需要に対応していくことが必要です。引き続き、市内と近隣自治体の民営墓地の供給状況を考慮しながら、市営墓地が担うべき墓地供給量とその時期を見通し、計画的な墓地の供給に取り組みます。

(2) 誰もが利用できる墓地の供給

幅広い世代の市民に対し、将来にわたり公平な取得機会を担保するとともに墓地の使用料をできるだけ低く設定することにより、市民の経済的負担を軽減するなどの福祉的な視点等も加味して、誰もが利用できる公共施設として墓地を供給することが必要です。受益者負担の考え方を取り入れ、誰もが利用できる墓地の供給に取り組みます。

(3) 特性を生かした墓地の整備

地形、周辺環境等の墓地の持つ特性を生かした墓地の整備を行うことが必要です。今後は、より一層この役割に配慮した墓地の整備に取り組みます。

3 基本方針

これまでの内容を踏まえ、市営墓地の整備に向けて基本方針を次のとおり定めます。

- 増加する墓地需要に対応しつつ、市営墓地の果たすべき役割に理解を求め、より多くの市民が利用できる墓地を整備します。
- 民営墓地の供給状況から計画期間中の一般墓所の整備を凍結し、墓じまいなどで返還された空き区画を再整備し供給します。
- 省スペースかつ墓地使用者の経済的負担が少ない合葬式墓所を整備します。
- 墓地の持つ特性を生かし、公園機能に配慮した墓地を整備します。

第6章 整備する墓地の形状と区画数

今後、本市が整備する墓地の形状と区画数については、以下のとおりとします。

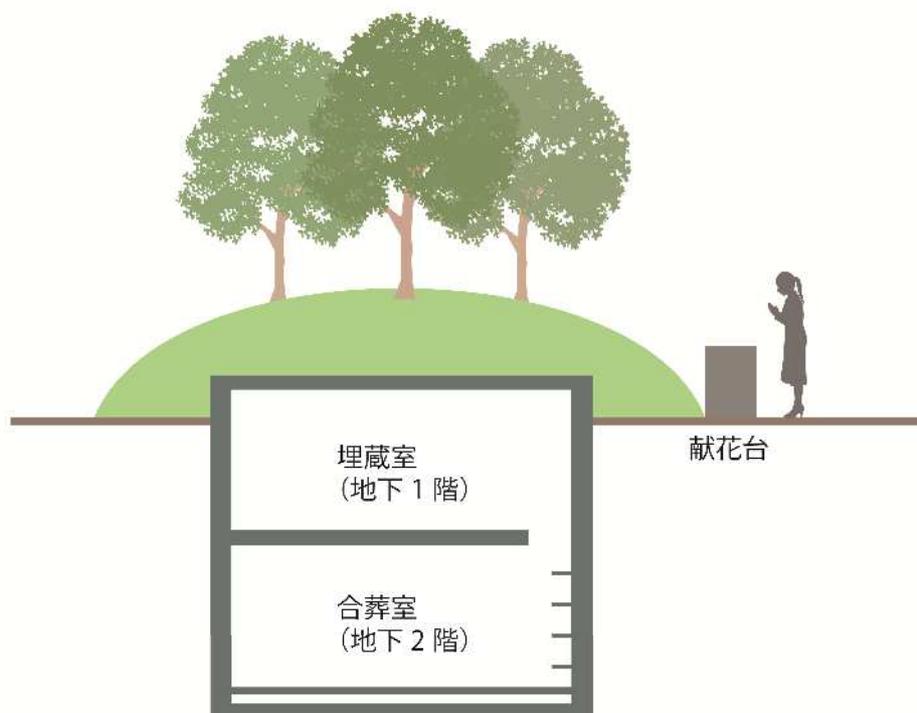
1 整備する墓地の形状

- 合葬式墓所を整備します。

(1) 合葬式墓所

今後整備する墓地は、相模原市市営墓地の在り方検討委員会の報告及び第3章の市民アンケート調査の結果等を踏まえ、より多くの市民に墓地を供給できる合葬式墓所とすることを基本とします。新たに整備する合葬式墓所は、既設の合葬式墓所と調和のとれたものとし、埋蔵方法については、既設の合葬式墓所と同様の埋蔵室を設ける形とします。

○樹林型の合葬式墓所のイメージ



(2) 一般墓所

この計画期間中における一般墓所の整備は凍結し、墓じまいなどで返還となった空き区画を再整備し供給します。

2 整備する墓地の区画数

- 整備する墓地は、合葬式墓所 2,500 区画（5,000 体）とします。

合葬式墓所の区画数については、令和4年度の市民アンケート調査で、「新たにお墓を必要としていますか。」との問いに「はい」と回答した人のうち、「希望するお墓の形状」に「合葬式墓所」と回答した人の割合が 33.9%であったことから、第4章の市営墓地の需要数 2,896 区画の 33.9%である約 1,000 区画（2,000 体）を合葬式墓所の基準供給数とします。

次に、第4章で示したように合葬式墓所の応募倍率は急激に上昇しており、これにより、応募者の約 60%が1年以上自宅等に遺骨を保管しています。第5章で述べたとおり、市営墓地が果たすべき役割を実行するため、基準供給数の 1.2 倍である 1,200 区画（2,400 体）の供給を確保します。

現在市内に設置している合葬式墓所の埋蔵室の最大埋蔵数は、慰霊碑型と樹林型のいずれも 5,000 体としていますが、埋蔵室への埋蔵可能数は 2,500 体となっております。

これは、合葬式墓所では、遺骨を使用許可日から 20 年間骨壺の状態を保管し、20 年経過後は骨壺から袋に移しかえ、他の焼骨と一緒に合葬室に埋蔵し、その後、空いた埋蔵室に新たな骨壺を保管するためです。

すでに、令和5年4月1日現在で、慰霊碑型合葬式墓所の埋蔵室の埋蔵数が 2,500 体、樹林型合葬式墓所の埋蔵室の埋蔵数が約 500 体となっております。

こうしたことから、計画期間内に樹林型合葬式墓所の埋蔵室への残りの埋蔵可能数である約 2,000 体を墓地の需要数が上回る見込みであるため、新たな合葬式墓所を整備します。

○改定後の計画期間内における新たな墓地の整備数

合葬式墓所 2,500 区画（5,000 体）

今後の応募数の高まりによっては、適切な供給数を確保するため、更なる合葬式墓所の整備が必要になる場合があります。

※合葬式墓所の区画数

合葬式墓所は、個人単位の埋蔵のため、2 体分で 1 区画として区画数を計算します。

第7章 整備計画

前章に基づき、具体的な整備計画については、以下のとおりとします。

1 整備する箇所

- ・ 計画期間内の墓地需要に対応可能な峰山霊園で墓地の整備を行います。

第5章のとおり、相模原市市営墓地の在り方検討委員会の報告では、既存墓地の再整備が市営墓地の目指すべき方向性として示されています。

墓地の未整備エリアがある峰山霊園において、次の視点を踏まえながら整備を行います。

- ・ 緑地をできる限り残しつつ、現在の峰山霊園で、墓地の未整備エリアの用地を活用した墓地を整備すること。
- ・ できる限り長期間にわたって供給できる墓地を整備すること。
- ・ 墓地使用者の負担を軽減するため、整備費用を低く抑えること。

上記の視点を踏まえ検討した結果、調整池の上に整備することとしていた駐車場について、駐車台数を見直し、別の場所に整備することにより費用を抑えます。

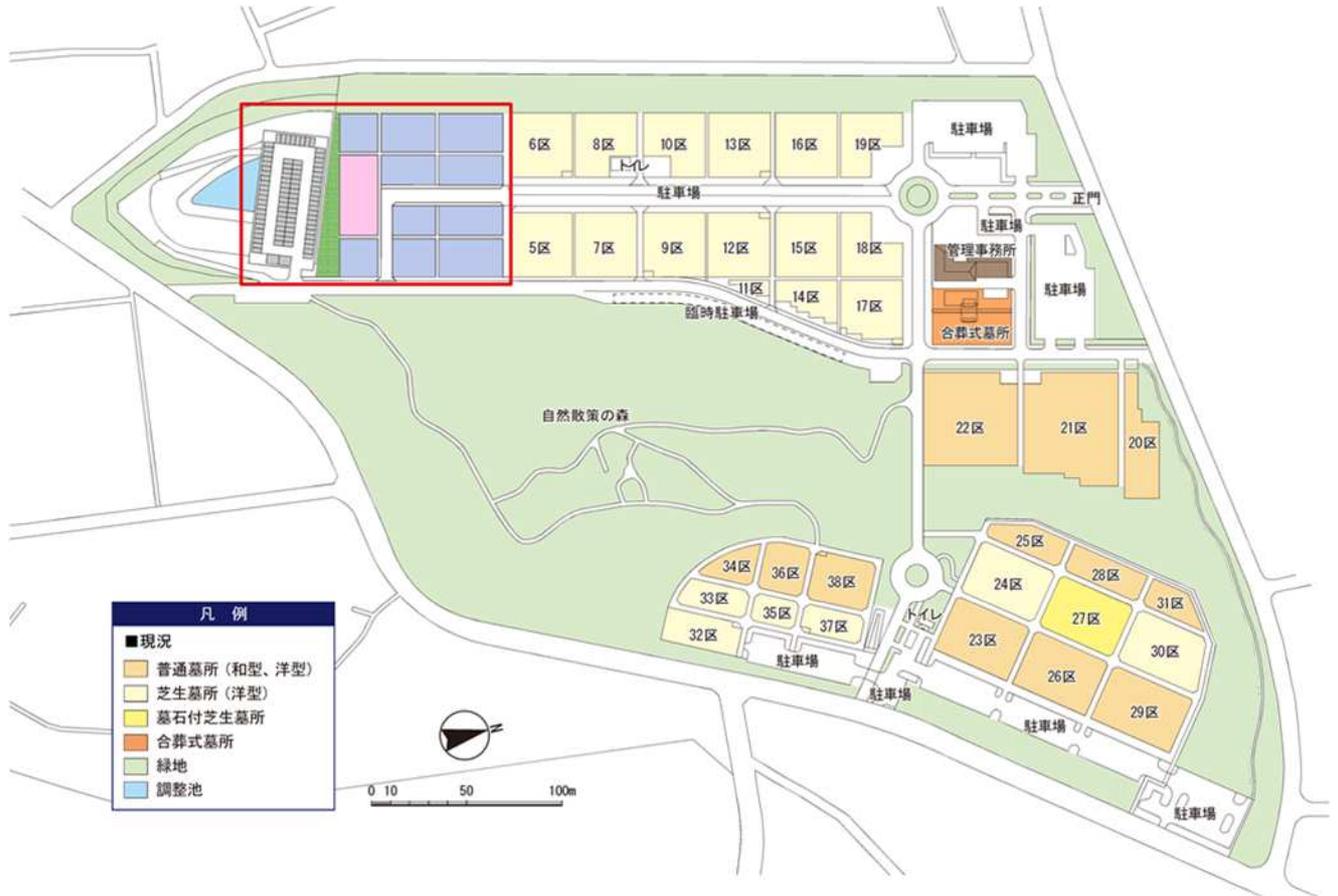
なお、新たな合葬式墓所の整備場所については改定前の本計画から変更はありません。その他、無縁墓石の保管場所や今後墓地を整備する予定の場所において、周辺環境と調和を図るため芝生の敷設及び園路等を整備します。

○今後の整備予定

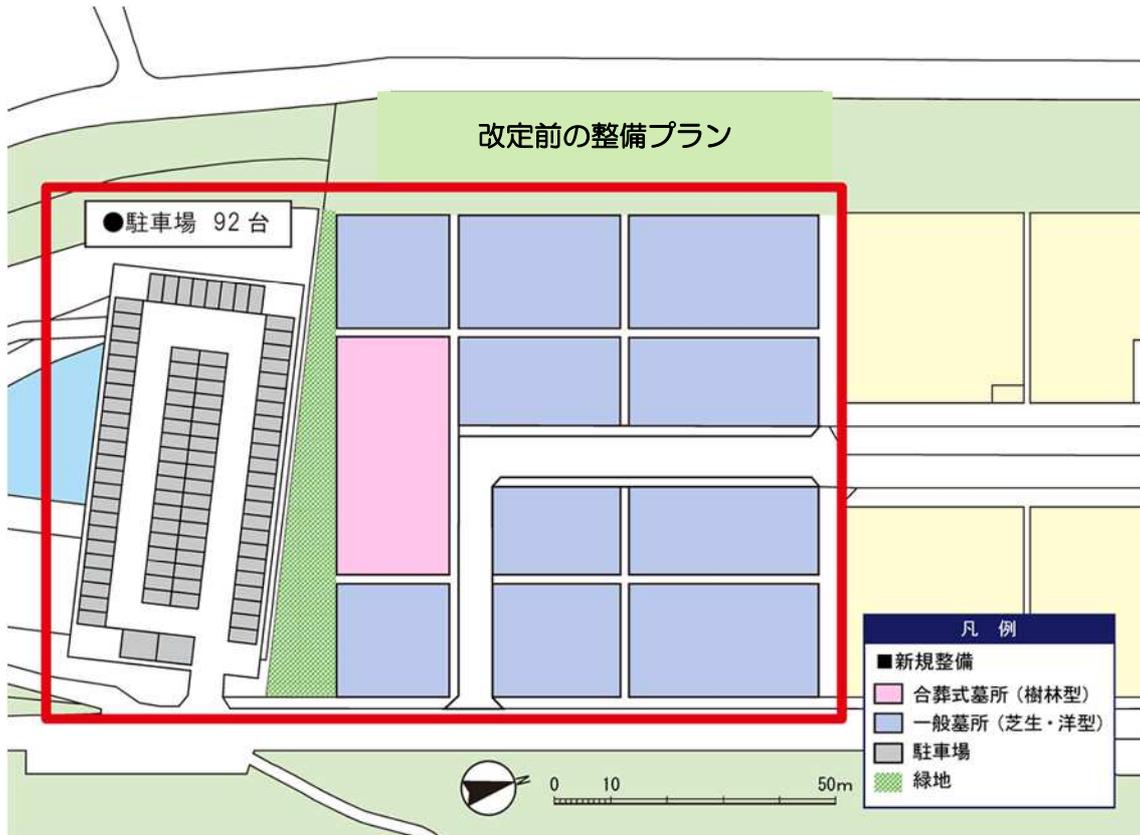
合葬式墓所	駐車場	その他
2,500 区画 (5,000 体)	30 台程度	無縁墓石保管場所 芝生の敷設 園路整備等

また、現段階では、峰山霊園で市民の墓地需要を満たすことができるため、新たな市営墓地の用地を取得しないこととします。

○整備エリア（全体図）



○整備プランの変更一例（平面図）



2 整備費と使用料

- 合葬式墓所及び駐車場等の整備費用は、使用者の皆様にご負担していただきます。

3 具体的な整備内容

峰山霊園における具体的な整備内容は、次のとおりとします。

(1) 合葬式墓所

合葬式墓所の整備に当たっては、既設の樹林型合葬式墓所や周辺環境と調和のとれた樹林型合葬式墓所を整備します。

また、今後の応募数の高まりによっては、適切な供給数を確保するため、更なる合葬式墓所の整備が必要になる場合があります。

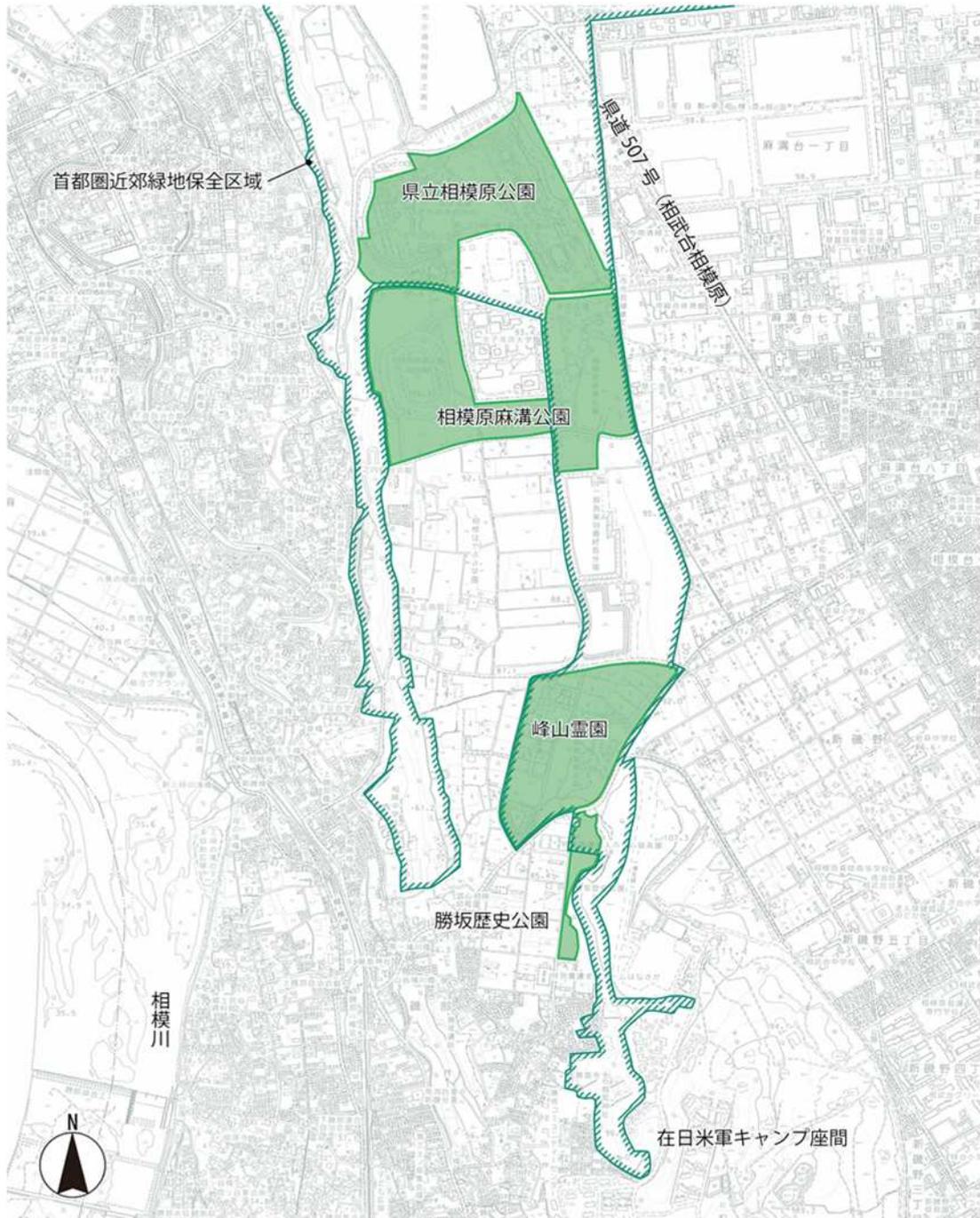
(2) 駐車場

墓参者が利用しやすいエリアに駐車場を整備します。

(3) その他

今後、無縁墓の整理を行うに当たり、墓石の一時的な保管場所を整備します。また、本計画期間内に墓地を整備しない場所においては、周辺環境と調和を図るため芝生の敷設を行います。

○峰山霊園周辺の地図



(4) 今後のスケジュール

今後のスケジュールについては、次のとおりです。

種別／年度	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12以降
既設合葬式墓所 (慰霊碑型)								※1
既設合葬式墓所 (樹林型その1)	○	○	○※2					
新設合葬式墓所 (樹林型その2)	実施 設計	整備	整備	○	○	○	○	○
合葬式墓所 (その3)	実施設計 整備 ○ (※3)							
一般墓所	整備凍結 (返還区画の公募は行う。)							整備 再検討
駐車場、 墓石の保管場所、 芝生の敷設等			実施 設計	整備				

「○」は公募スケジュール(案)を表しています。

※1 既設合葬式墓所(慰霊碑型)の公募再開は令和13年度から予定しています。

※2 令和7年度に既設合葬式墓所(樹林型)の埋蔵室が満量となる見込みです。

※3 合葬式墓所(その3)の整備区画数や整備時期等は、公募状況等の需要を基に改めて検討します。

第8章 改定前の本計画において検討課題としていた事項

平成26年度の本計画策定時に検討課題としていた、期限付墓所の導入、柴胡が原霊園に関する課題等について、改定後は次のとおりとします。

1 墓石付芝生墓所（期限付墓所）の導入についての課題

期限付墓所である墓石付芝生墓所の当初の公募状況を見ると、応募数が公募数に満たないことがありましたが、第2章の報告のとおり平均応募倍率が4.55倍となっています。今回の改定においては、墓石付芝生墓所（期限付墓所）の新規導入は見送りとしますが、引き続き運用します。

2 柴胡が原霊園についての課題

柴胡が原霊園に日陰がないといった課題については、計画期間内に東屋の整備を検討します。

また、柴胡が原霊園への合葬式墓所の導入については、合葬式墓所を整備するスペースがなく、既存の墓地を整理し、新たなスペースを生み出すことも困難であることから行わないこととします。

参考資料

○令和4年度の相模原市墓地需要調査（市民アンケート調査）の結果

1 市民アンケート調査の概要

（1）調査目的

相模原市市営墓地基本計画（平成26年度策定）の中間見直しに向けて、平成25年度に行った市民アンケート調査結果と比較を行うことにより、墓地需要の変化を捉えるための基礎資料として実施した。

（2）調査概要

- ・調査期間：令和5年1月12日～1月25日
- ・調査対象：相模原市内在住の50歳以上の世帯主（無作為）
- ・調査地域：相模原市全域
- ・調査世帯数：3,000名
- ・調査方法：郵送調査
- ・有効回答数：1,471名（内訳：紙による回答/1,036名、QRコードからの回答/435名）
（有効回答率：49.03%）
- ・調査機関：公益社団法人 全日本墓園協会

2 調査手法

（1）調査形式

回答者が無記名で、調査票に直接回答を記入する形式、もしくは調査票に記載されたQRコードからWEBで回答を行う。なお、回収率を高めるため、調査期間の後半に調査対象者に対してお礼兼回答のお願いはがきを発送した。

（2）配布物

- ・墓地に関する市民アンケート調査について（お願い）
- ・調査票
- ・参考資料「お墓の形状」
- ・返信用封筒

3 市民アンケート調査の実施結果

市民アンケート調査の実施結果は、次ページ以降のとおり

※設問の記載については、調査票に記載された内容としています。

(1) 回答者の属性

問1 あなたご自身について伺います。該当する項目に○または数字をご記入ください。

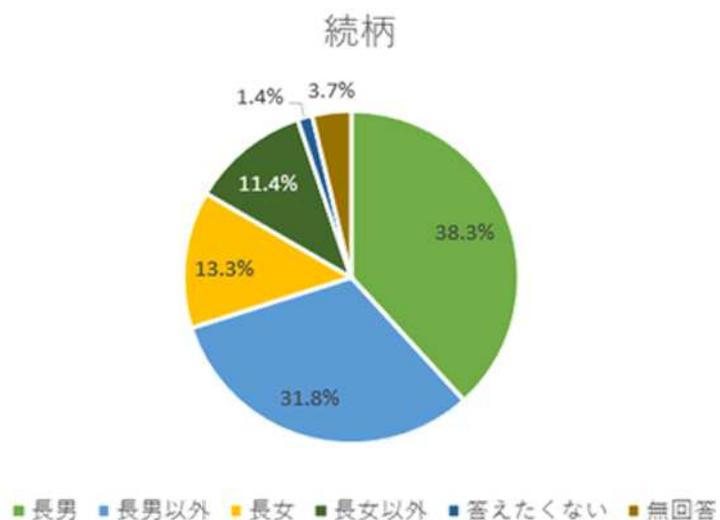
① 年代

50代	376	25.6%
60代	360	24.5%
70代	452	30.7%
80代以上	278	18.9%
無回答	5	0.3%
合計	1471	100.0%



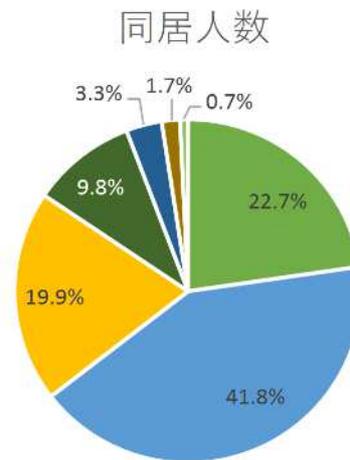
② (兄弟・姉妹の中で) 続柄

長男	563	38.3%
長男以外	468	31.8%
長女	196	13.3%
長女以外	168	11.4%
答えたくない	21	1.4%
無回答	55	3.7%
合計	1471	100.0%



③ 同居している方の人数（自身を含めず）

0人	334	22.7%
1人	615	41.8%
2人	293	19.9%
3人	144	9.8%
4人	49	3.3%
5人以上	25	1.7%
無回答	11	0.7%
合計	1471	100.0%



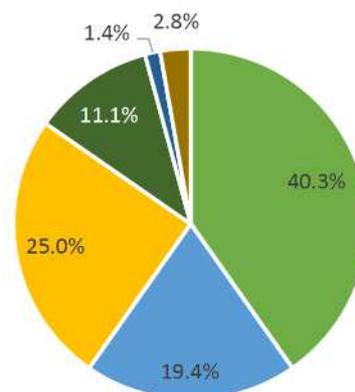
■ 0人 ■ 1人 ■ 2人 ■ 3人 ■ 4人 ■ 5人以上 ■ 無回答

③-① 同居人数「0人」の内訳

50代

長男	29	40.3%
長男以外	14	19.4%
長女	18	25.0%
長女以外	8	11.1%
答えたくない	1	1.4%
無回答	2	2.8%
合計	72	100.0%

50代同居人数0人

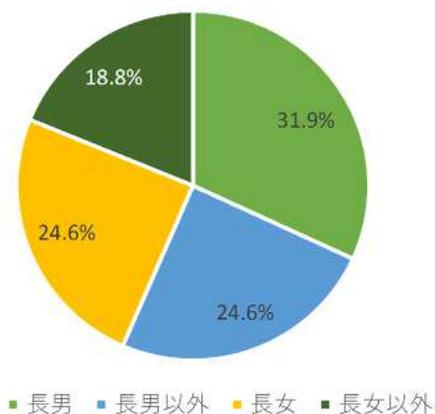


■ 長男 ■ 長男以外 ■ 長女 ■ 長女以外 ■ 答えたくない ■ 無回答

60代

長男	22	31.9%
長男以外	17	24.6%
長女	17	24.6%
長女以外	13	18.8%
答えたくない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	69	100.0%

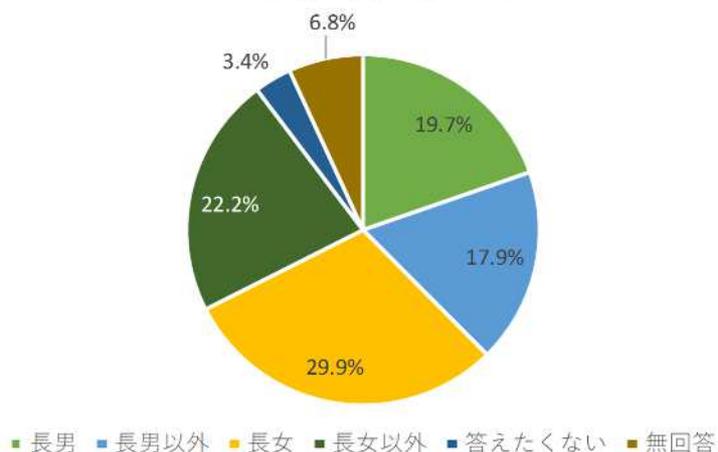
60代同居人数0人



70代

長男	23	19.7%
長男以外	21	17.9%
長女	35	29.9%
長女以外	26	22.2%
答えたくない	4	3.4%
無回答	8	6.8%
合計	117	100.0%

70代同居人数0人



80代

長男	11	14.5%
長男以外	11	14.5%
長女	16	21.1%
長女以外	25	32.9%
答えたくない	2	2.6%
無回答	11	14.5%
合計	76	100.0%

80代同居人数0人

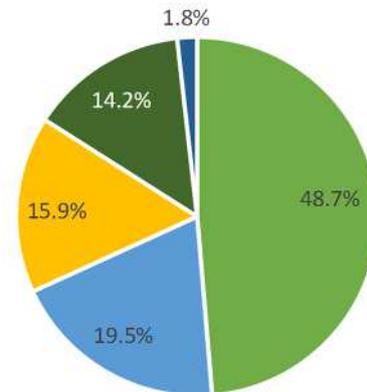


③－(2) 同居人数「1人」の内訳

50代

長男	55	48.7%
長男以外	22	19.5%
長女	18	15.9%
長女以外	16	14.2%
答えたくない	2	1.8%
無回答	0	0.0%
合計	113	100.0%

50代同居人数1人

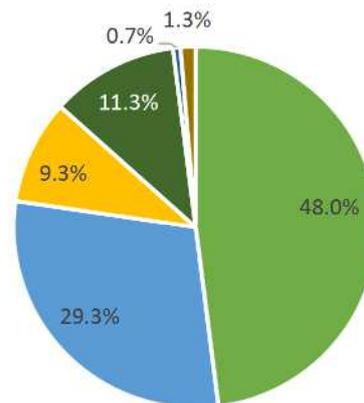


■ 長男 ■ 長男以外 ■ 長女 ■ 長女以外 ■ 答えたくない

60代

長男	72	48.0%
長男以外	44	29.3%
長女	14	9.3%
長女以外	17	11.3%
答えたくない	1	0.7%
無回答	2	1.3%
合計	150	100.0%

60代同居人数1人

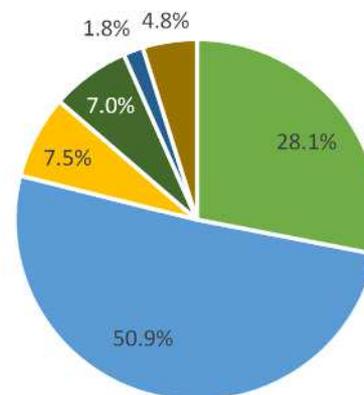


■ 長男 ■ 長男以外 ■ 長女 ■ 長女以外 ■ 答えたくない ■ 無回答

70代

長男	64	28.1%
長男以外	116	50.9%
長女	17	7.5%
長女以外	16	7.0%
答えたくない	4	1.8%
無回答	11	4.8%
合計	228	100.0%

70代同居人数1人

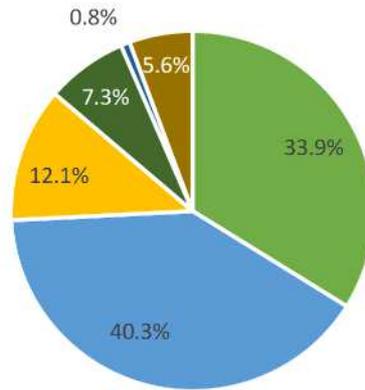


■ 長男 ■ 長男以外 ■ 長女 ■ 長女以外 ■ 答えたくない ■ 無回答

80代

長男	42	33.9%
長男以外	50	40.3%
長女	15	12.1%
長女以外	9	7.3%
答えたくない	1	0.8%
無回答	7	5.6%
合計	124	100.0%

80代同居人数1人



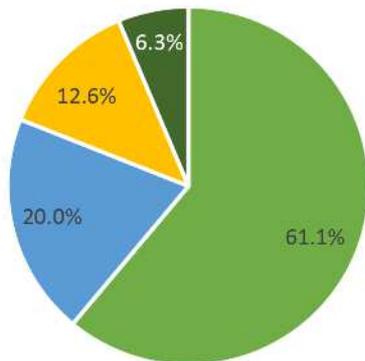
■ 長男 ■ 長男以外 ■ 長女
■ 長女以外 ■ 答えたくない ■ 無回答

③-③ 同居人数「2人」の内訳

50代

長男	58	61.1%
長男以外	19	20.0%
長女	12	12.6%
長女以外	6	6.3%
答えたくない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	95	100.0%

50代同居人数2人

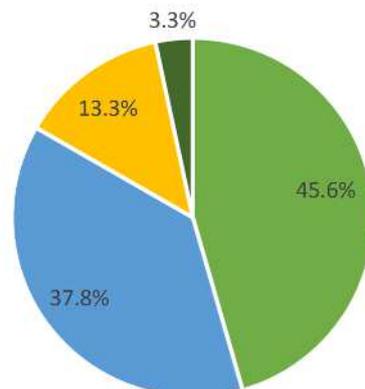


■ 長男 ■ 長男以外 ■ 長女 ■ 長女以外

60代

長男	41	45.6%
長男以外	34	37.8%
長女	12	13.3%
長女以外	3	3.3%
答えたくない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	90	100.0%

60代同居人数2人

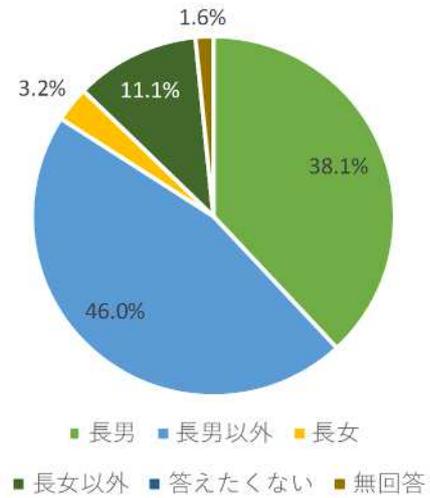


■ 長男 ■ 長男以外 ■ 長女 ■ 長女以外

70代

長男	24	38.1%
長男以外	29	46.0%
長女	2	3.2%
長女以外	7	11.1%
答えたくない	0	0.0%
無回答	1	1.6%
合計	63	100.0%

70代同居人数2人



80代

長男	11	25.0%
長男以外	16	36.4%
長女	5	11.4%
長女以外	7	15.9%
答えたくない	1	2.3%
無回答	4	9.1%
合計	44	100.0%

80代同居人数2人

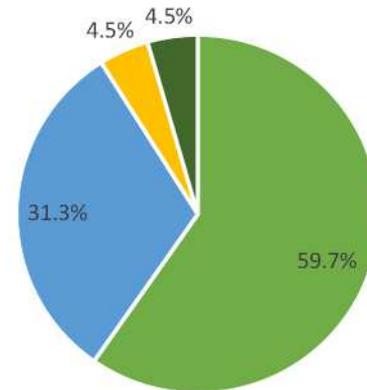


③－(4) 同居人数「3人」の内訳

50代

長男	40	59.7%
長男以外	21	31.3%
長女	3	4.5%
長女以外	3	4.5%
答えたくない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	67	100.0%

50代同居人数3人

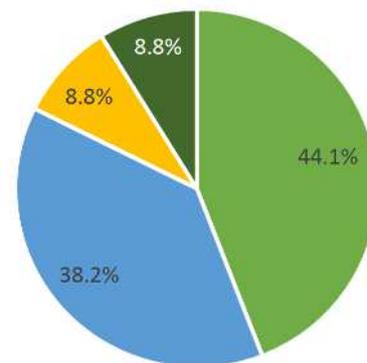


■ 長男 ■ 長男以外 ■ 長女 ■ 長女以外

60代

長男	15	44.1%
長男以外	13	38.2%
長女	3	8.8%
長女以外	3	8.8%
答えたくない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	34	100.0%

60代同居人数3人

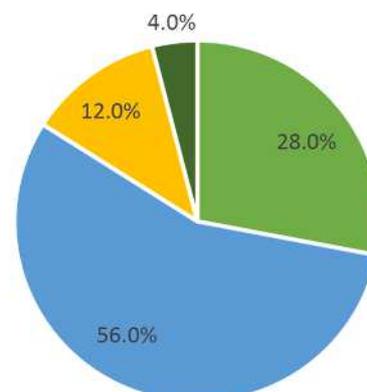


■ 長男 ■ 長男以外 ■ 長女 ■ 長女以外

70代

長男	7	28.0%
長男以外	14	56.0%
長女	3	12.0%
長女以外	1	4.0%
答えたくない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	25	100.0%

70代同居人数3人



■ 長男 ■ 長男以外 ■ 長女 ■ 長女以外

80代

長男	6	33.3%
長男以外	7	38.9%
長女		0.0%
長女以外	3	16.7%
答えたくない	1	5.6%
無回答	1	5.6%
合計	18	100.0%

80代同居人数3人



③- (5) 同居人数「4人」の内訳

50代

長男	9	47.4%
長男以外	7	36.8%
長女	2	10.5%
長女以外	0	0.0%
答えたくない	1	5.3%
無回答	0	0.0%
合計	19	100.0%

60代

長男	9	90.0%
長男以外	0	0.0%
長女	1	10.0%
長女以外	0	0.0%
答えたくない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	10	100.0%

70代

長男	3	25.0%
長男以外	2	16.7%
長女	3	25.0%
長女以外	2	16.7%
答えたくない	1	8.3%
無回答	1	8.3%
合計	12	100.0%

80代

長男	3	37.5%
長男以外	2	25.0%
長女		0.0%
長女以外	2	25.0%
答えたくない	0	0.0%
無回答	1	12.5%
合計	8	100.0%

③－(6) 同居人数「5人」の内訳

50代

長男	5	62.5%
長男以外	3	37.5%
長女	0	0.0%
長女以外	0	0.0%
答えたくない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	8	100.0%

60代

長男	2	33.3%
長男以外	2	33.3%
長女	0	0.0%
長女以外	0	0.0%
答えたくない	1	16.7%
無回答	1	16.7%
合計	6	100.0%

70代

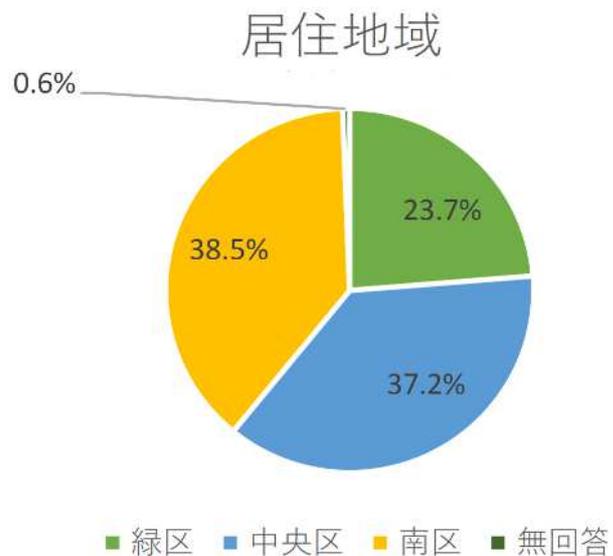
長男	4	66.7%
長男以外	2	33.3%
長女	0	0.0%
長女以外	0	0.0%
答えたくない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	6	100.0%

80代

長男	2	40.0%
長男以外	1	20.0%
長女	0	0.0%
長女以外	1	20.0%
答えたくない	0	0.0%
無回答	1	20.0%
合計	5	100.0%

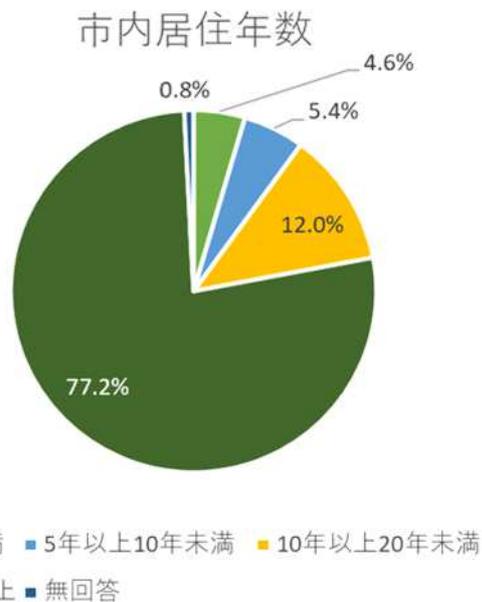
⑤ 居住地域

緑区	349	23.7%
中央区	547	37.2%
南区	566	38.5%
無回答	9	0.6%
合計	1471	100.0%



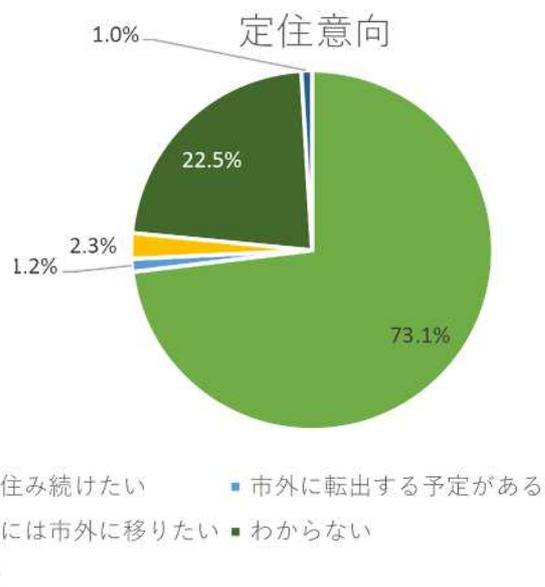
⑥ 市内居住年数

5年未満	67	4.6%
5年以上10年未満	80	5.4%
10年以上20年未満	177	12.0%
20年以上	1135	77.2%
無回答	12	0.8%
合計	1471	100.0%



⑦ 定住意向

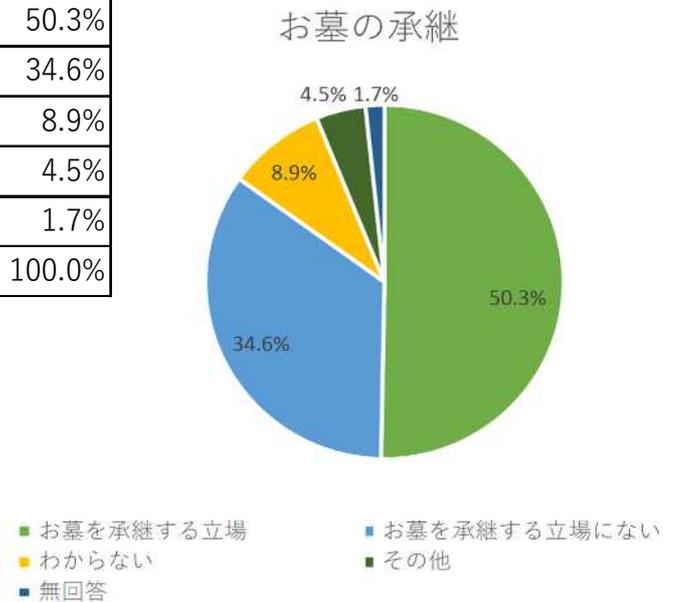
市内に住み続けたい	1075	73.1%
市外に転出する予定がある	17	1.2%
将来的には市外に移りたい	34	2.3%
わからない	331	22.5%
無回答	14	1.0%
合計	1471	100.0%



(2) 墓地に関する意向

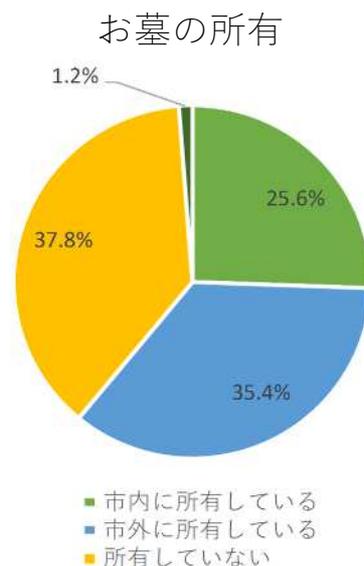
問2 お墓の承継についてのあなたの立場を伺います。該当する項目に○をつけて下さい。

お墓を承継する立場	740	50.3%
お墓を承継する立場にない	509	34.6%
わからない	131	8.9%
その他	66	4.5%
無回答	25	1.7%
合計	1471	100.0%



問3 あなたの世帯ではお墓をお持ちですか。該当する項目に○をつけて下さい。

市内に所有している	376	25.6%
市外に所有している	521	35.4%
所有していない	556	37.8%
無回答	18	1.2%
合計	1471	100.0%



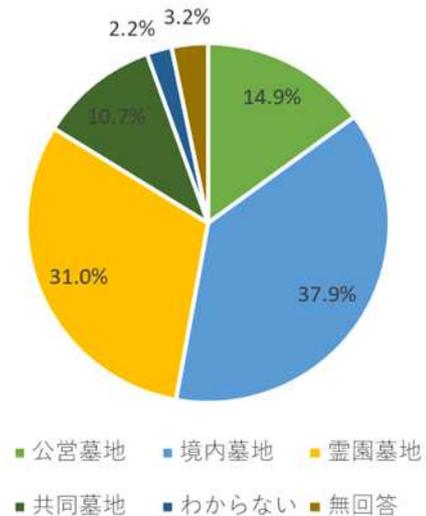
問4 問3で、「市内に所有している」または「市外に所有している」とお答えした方に伺います。該当する項目に○をつけて下さい。

① お持ちの墓地は、次のどれですか。また、[] には、別添「参考例」から該当または類似する形状を記号でご記入下さい。

墓地の運用形態

公営墓地	134	14.9%
境内墓地	340	37.9%
霊園墓地	278	31.0%
共同墓地	96	10.7%
わからない	20	2.2%
無回答	29	3.2%
合計	897	100.0%

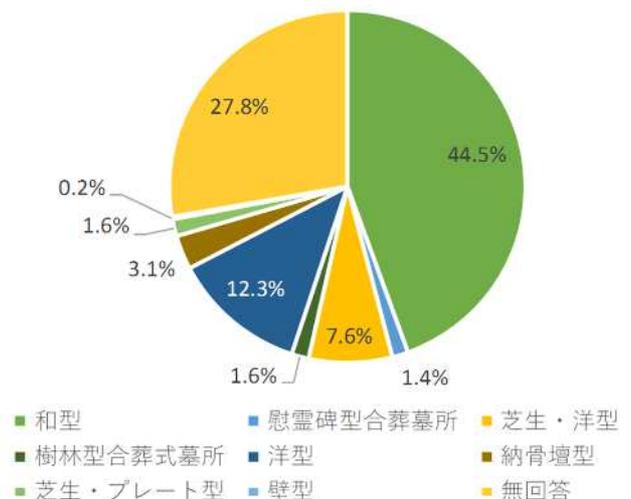
墓地の運用形態



お墓の形状

和型	399	44.5%
慰霊碑型合葬墓所	13	1.4%
芝生・洋型	68	7.6%
樹林型合葬式墓所	14	1.6%
洋型	110	12.3%
納骨壇型	28	3.1%
芝生・プレート型	14	1.6%
壁型	2	0.2%
無回答	249	27.8%
合計	897	100.0%

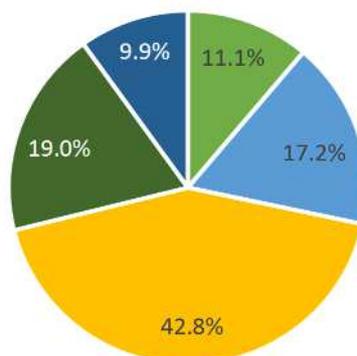
お墓の形状



② 1年間で何回お墓参りをしますか。

1回	100	11.1%
2回	154	17.2%
3回以上	384	42.8%
その他	170	19.0%
無回答	89	9.9%
合計	897	100.0%

お墓参りの回数

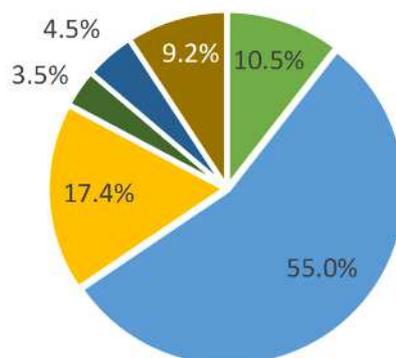


■ 1回 ■ 2回 ■ 3回以上 ■ その他 ■ 無回答

③ お墓参りにはどのような方法で行きますか。(乗り継ぐ等の場合、その全てに○をつけて下さい)

徒歩	106	10.5%
自家用車	558	55.0%
電車・バス等公共交通機関	176	17.4%
タクシー	35	3.5%
その他	46	4.5%
無回答	93	9.2%
合計	1014	100.0%

お墓参りの交通手段



■ 徒歩
■ 自家用車
■ 電車・バス等公共交通機関

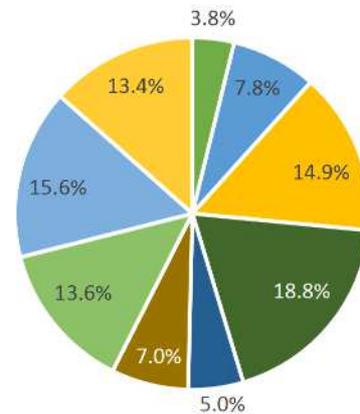
その他の記述

行かない	4
遠方のため両親の納骨時のみ	1
教会のバス	1
子供、親戚等の車	7
自転車、バイク	16
飛行機	8
霊園内バス	5
レンタカー	1
まだ誰も入っていない	1

④ 故人の法要、追悼会等を、何年後まで行いますか。または行う予定ですか。

1年後	34	3.8%
3年後	70	7.8%
7年後	134	14.9%
13年後	169	18.8%
17年後	45	5.0%
23年後	63	7.0%
33年後	122	13.6%
その他	140	15.6%
無回答	120	13.4%
合計	897	100.0%

法要は何年までするか



■ 1年後 ■ 3年後 ■ 7年後 ■ 13年後 ■ 17年後
 ■ 23年後 ■ 33年後 ■ その他 ■ 無回答

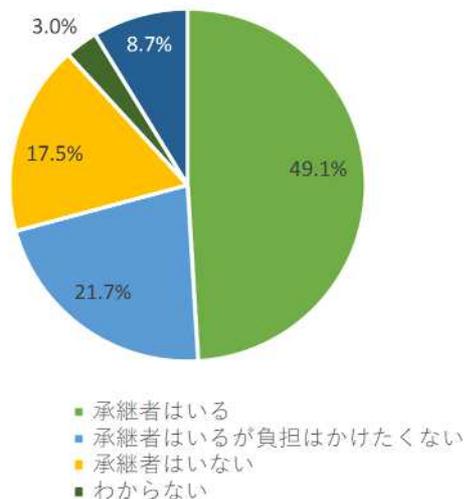
その他の記述

行わない、予定なし	40
わからない	26
生きている限り	19
まだお骨がない	7
100年	1
5年（神道）	1
10年祭	1
3,5,10,15年祭	1
25年で終了	1
47回忌	1
不定期、気分的	2
永代供養なので	2
お金がかかりすぎる	1

⑤ あなたの世帯にはお墓の承継者がいますか。

承継者はいる	440	49.1%
承継者はいるが負担はかけたくない	195	21.7%
承継者はいない	157	17.5%
わからない	27	3.0%
無回答	78	8.7%
合計	897	100.0%

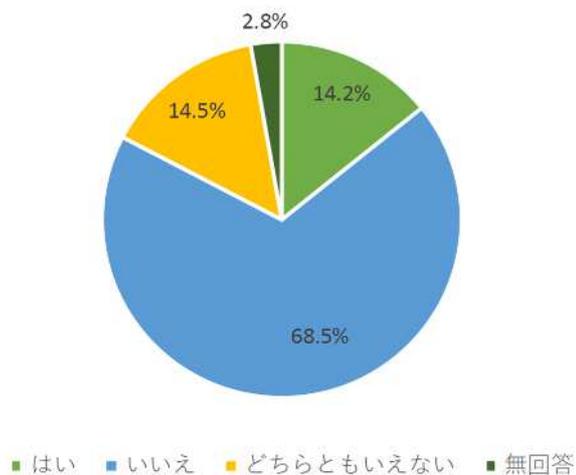
お墓の承継者について



問5 現在、あなたの世帯は新たにお墓を必要としていますか。該当する項目に○をつけて下さい。

はい	209	14.2%
いいえ	1007	68.5%
どちらともいえない	214	14.5%
無回答	41	2.8%
合計	1471	100.0%

新たにお墓が必要か



問6 問5「現在、あなたの世帯は新たにお墓を必要としていますか。」で「はい」とお答えした方に伺います。

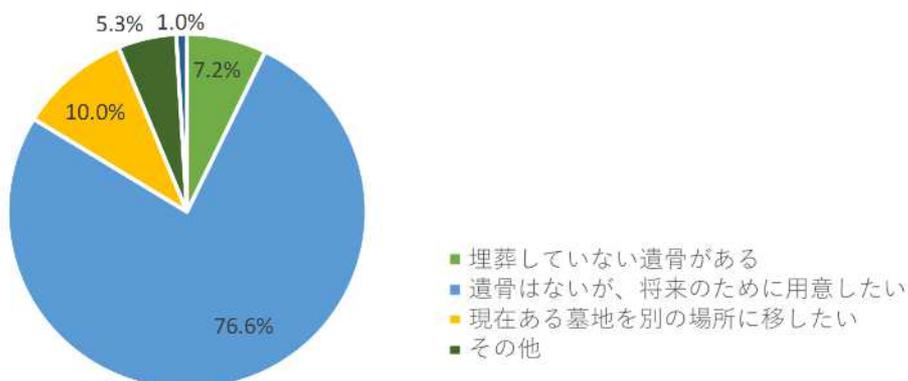
① 新たにお墓が必要な理由について、該当する項目に○をつけて下さい。

埋葬していない遺骨がある	15	7.2%
遺骨はないが、将来のために用意したい	160	76.6%
現在ある墓地を別の場所に移したい	21	10.0%
その他	11	5.3%
無回答	2	1.0%
合計	209	100.0%

その他の記述

遠方なので近くに	2
自分の入るところ	6
合葬式にしたい	2
娘夫婦のために	1

お墓が必要な理由

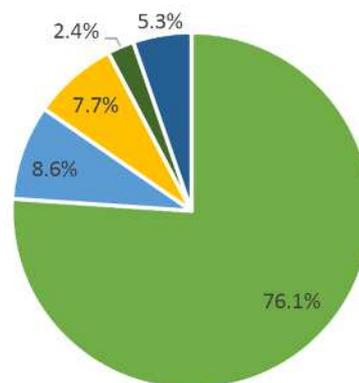


② どのように運用されている墓地を選びますか。優先順に3つ選んで下さい。

1位

公営墓地	159	76.1%
寺院教会境内墓地	18	8.6%
民営（宗旨・宗派不問）墓地	16	7.7%
その他	5	2.4%
無回答	11	5.3%
合計	209	100.0%

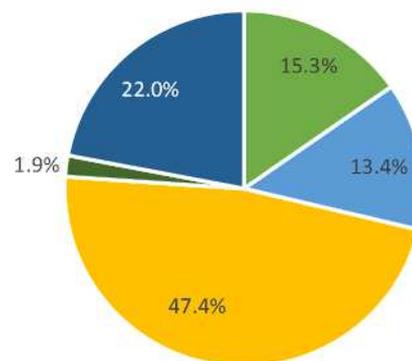
どのように運営されている
墓地を選ぶか（1位）



2位

公営墓地	32	15.3%
寺院教会境内墓地	28	13.4%
民営（宗旨・宗派不問）墓地	99	47.4%
その他	4	1.9%
無回答	46	22.0%
合計	209	100.0%

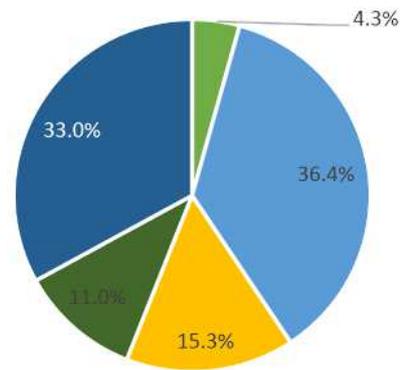
どのように運営されている
墓地を選ぶか（2位）



3位

公営墓地	9	4.3%
寺院教会境内墓地	76	36.4%
民営（宗旨・宗派不問）墓地	32	15.3%
その他	23	11.0%
無回答	69	33.0%
合計	209	100.0%

どのように運営されている
墓地を選ぶか（3位）



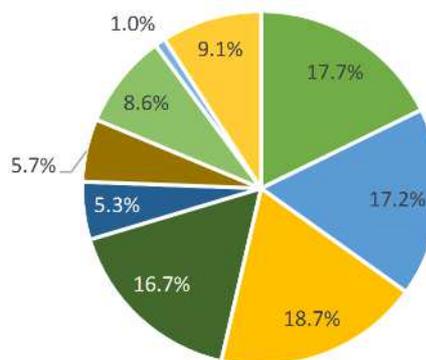
- 公営墓地
- 寺院教会境内墓地
- 民営（宗旨・宗派不問）墓地
- その他

③ どのようなお墓の形状を希望しますか。別添「参考例」から該当する記号を優先順に3つ選んで下さい。

1位

和型	37	17.7%
慰霊碑型合葬墓所	36	17.2%
芝生・洋型	39	18.7%
樹林型合葬式墓所	35	16.7%
洋型	11	5.3%
納骨壇型	12	5.7%
芝生・プレート型	18	8.6%
壁型	2	1.0%
無回答	19	9.1%
合計	209	100.0%

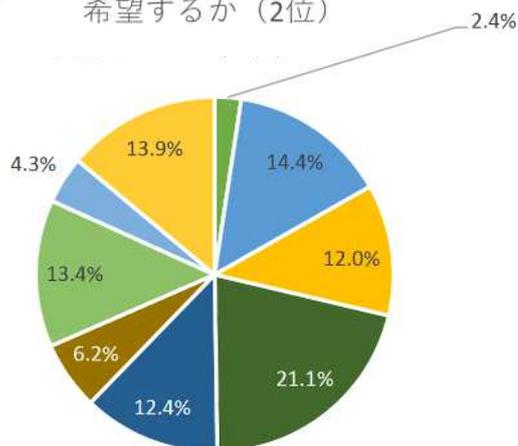
どのような形状のお墓を希望するか (1位)



2位

和型	5	2.4%
慰霊碑型合葬墓所	30	14.4%
芝生・洋型	25	12.0%
樹林型合葬式墓所	44	21.1%
洋型	26	12.4%
納骨壇型	13	6.2%
芝生・プレート型	28	13.4%
壁型	9	4.3%
無回答	29	13.9%
合計	209	100.0%

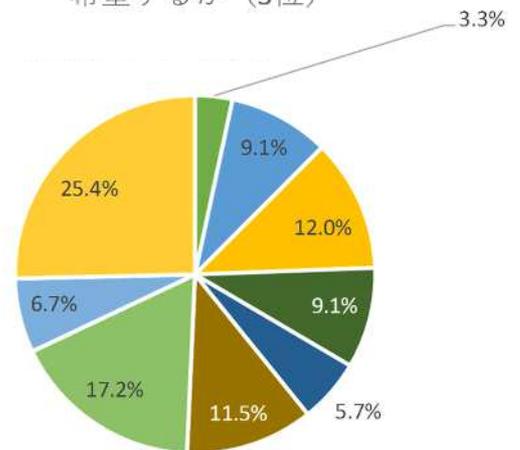
どのような形状のお墓を希望するか (2位)



3位

和型	7	3.3%
慰霊碑型合葬墓所	19	9.1%
芝生・洋型	25	12.0%
樹林型合葬式墓所	19	9.1%
洋型	12	5.7%
納骨壇型	24	11.5%
芝生・プレート型	36	17.2%
壁型	14	6.7%
無回答	53	25.4%
合計	209	100.0%

どのような形状のお墓を
希望するか (3位)

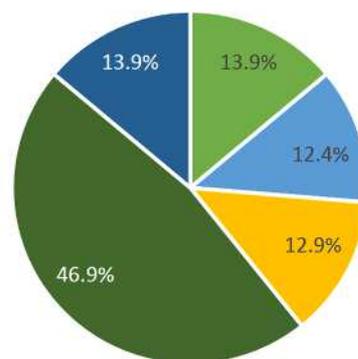


- 和型
- 慰霊碑型合葬墓所
- 芝生・洋型
- 樹林型合葬式墓所
- 洋型
- 納骨壇型
- 芝生・プレート型
- 壁型
- 無回答

④ お墓を必要とする時期はいつ頃ですか。該当する項目に○をつけて下さい。

2年以内	29	13.9%
5年以内	26	12.4%
10年以内	27	12.9%
時期は決めていない	98	46.9%
無回答	29	13.9%
合計	209	100.0%

いつ頃お墓が必要か



■ 2年以内 ■ 5年以内 ■ 10年以内 ■ 時期は決めていない ■ 無回答

問7 あなたはどのような人と一緒にお墓に入りたいとお考えですか。該当する項目に○をつけて下さい。（複数回答でも構いません）

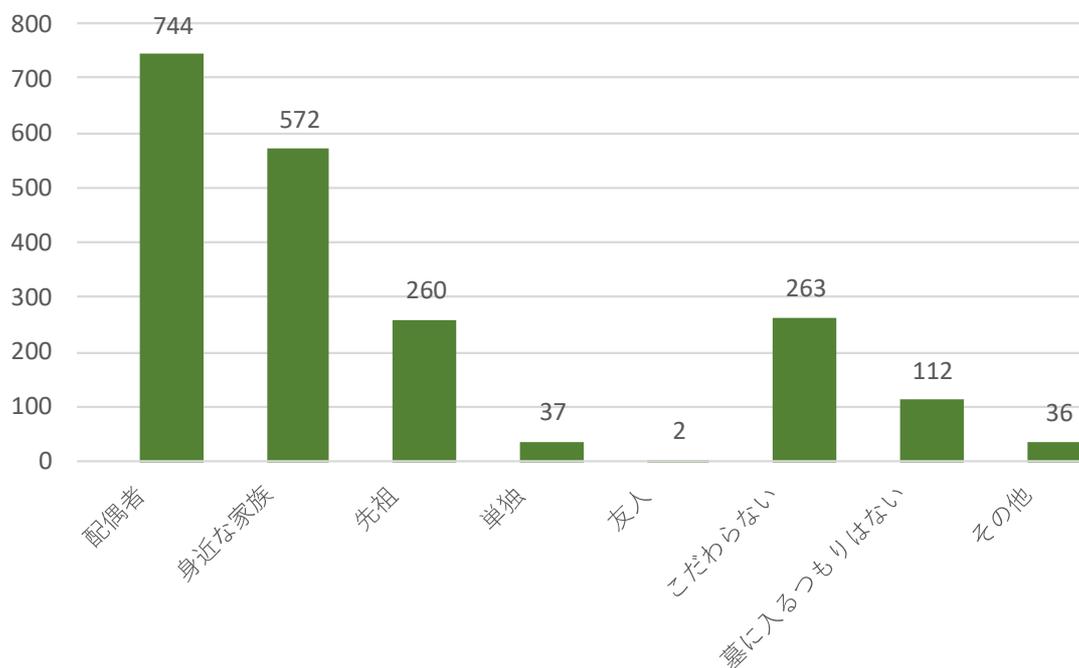
（複数回答可）

配偶者	744
身近な家族	572
先祖	260
単独	37
友人	2
こだわらない	263
墓に入るつもりはない	112
その他	36
合計	2026

その他の記述

ペットと一緒に	11
散骨	6
不明、わからない	5
両親、または子供	4
合同墓	3
樹木葬に	2
近家の墓に入りたくない	1
愛人	1
骨ダイヤ	1
墓じまい	1

あなたはどのような人と一緒にお墓に入りたいか



問8 お亡くなりになった親族の方の遺骨をお墓に納める必要が生じた場合についてお伺いします。

- ① 親族の方の遺骨を納める場合のお墓の形状はどれを希望しますか。
 ※別添の「参考例」から該当する記号を優先順に3つ選んでください。

1位

和型	448	30.5%
慰霊碑型合葬墓所	148	10.1%
芝生・洋型	156	10.6%
樹林型合葬式墓所	170	11.6%
洋型	106	7.2%
納骨壇型	82	5.6%
芝生・プレート型	80	5.4%
壁型	11	0.7%
無回答	270	18.4%
合計	1471	100.0%

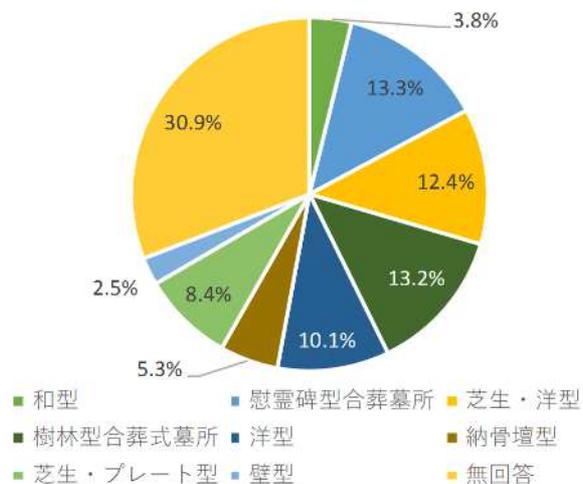
親族の遺骨を納める場合
 どの形状のお墓を希望するか（1位）



2位

和型	56	3.8%
慰霊碑型合葬墓所	196	13.3%
芝生・洋型	183	12.4%
樹林型合葬式墓所	194	13.2%
洋型	149	10.1%
納骨壇型	78	5.3%
芝生・プレート型	123	8.4%
壁型	37	2.5%
無回答	455	30.9%
合計	1471	100.0%

親族の遺骨を納める場合
 どの形状のお墓を希望するか（2位）



3位

和型	57	3.9%
慰霊碑型合葬墓所	98	6.7%
芝生・洋型	147	10.0%
樹林型合葬式墓所	146	9.9%
洋型	67	4.6%
納骨壇型	110	7.5%
芝生・プレート型	193	13.1%
壁型	59	4.0%
無回答	594	40.4%
合計	1471	100.0%

親族の遺骨を納める場合
どの形状のお墓を希望するか (3位)



② 別添「参考例」に希望するものがない場合には、その遺骨はどうされますか。

自宅で安置する	173	11.8%
散骨する	347	23.6%
その他	88	6.0%
無回答	863	58.7%
合計	1471	100.0%



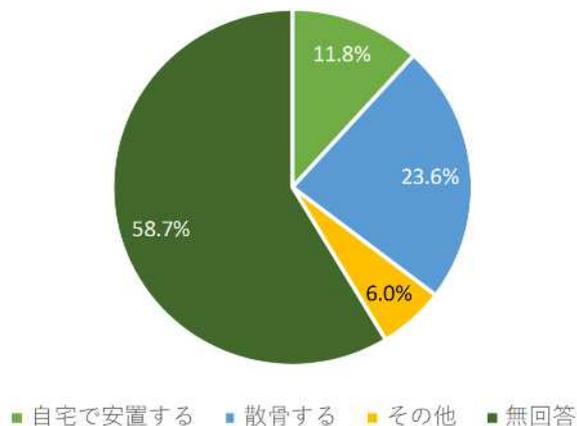
無回答を除く608件のうち

自宅で安置する	173	28.5%
散骨する	347	57.1%
その他	88	14.5%
合計	608	100.0%

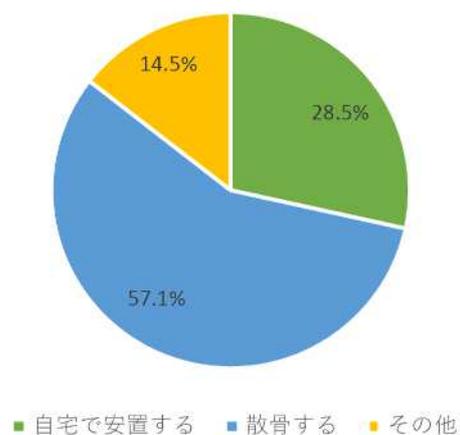
その他の記述

自分の墓、先祖の墓に	15
樹木、納骨壇、合葬墓等永代供養	15
わからない	12
散骨、墓は不要	5
どこかを探す	4
ダイヤにして身につける	3
寺に預ける	3
分骨	2
斎場に預ける	1

参考例にない場合に遺骨をどうするか



参考例にない場合に遺骨をどうするか

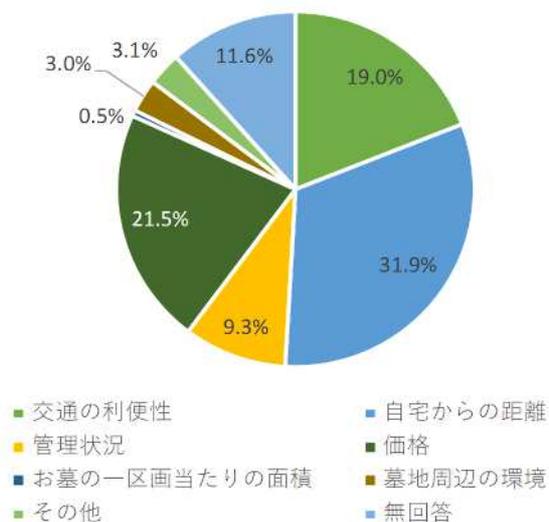


問9 あなたがお墓を選ぶ際に考慮する点はどれですか。優先順に3つ選んで下さい。

1位

交通の利便性	280	19.0%
自宅からの距離	469	31.9%
管理状況	137	9.3%
価格	317	21.5%
お墓の一区画当たりの面積	8	0.5%
墓地周辺の環境	44	3.0%
その他	45	3.1%
無回答	171	11.6%
合計	1471	100.0%

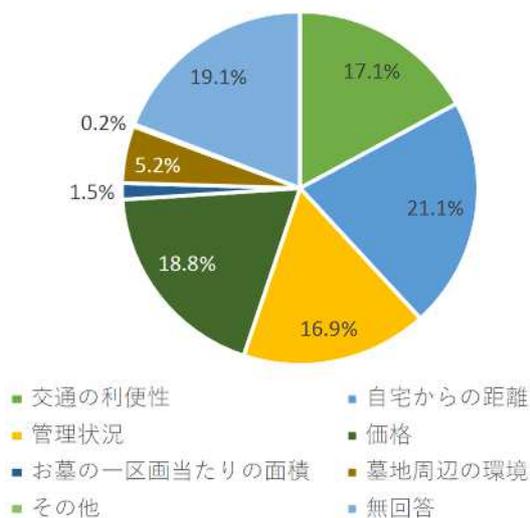
お墓選びに考慮する点 1位



2位

交通の利便性	251	17.1%
自宅からの距離	311	21.1%
管理状況	249	16.9%
価格	277	18.8%
お墓の一区画当たりの面積	22	1.5%
墓地周辺の環境	77	5.2%
その他	3	0.2%
無回答	281	19.1%
合計	1471	100.0%

お墓選びに考慮する点 2位



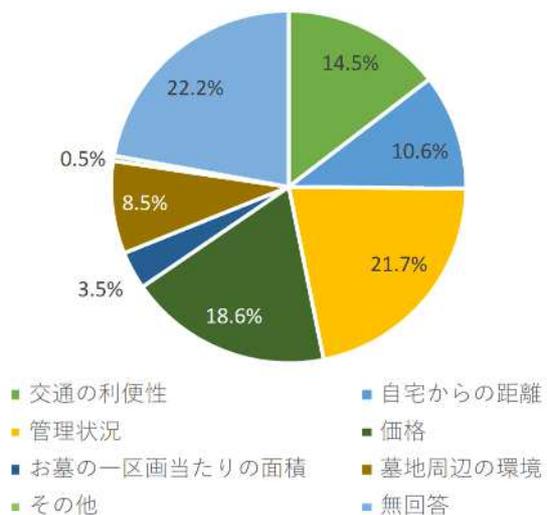
3位

交通の利便性	214	14.5%
自宅からの距離	156	10.6%
管理状況	319	21.7%
価格	273	18.6%
お墓の一区画当たりの面積	51	3.5%
墓地周辺の環境	125	8.5%
その他	7	0.5%
無回答	326	22.2%
合計	1471	100.0%

その他の記述

墓があるので選択できず	14
墓は不要	10
散骨	4
負担のないところ、楽なところ	3
承継の負担がないところ	2
ペットと入れて明るいところ	1
見栄え	1

お墓選びに考慮する点 3位



(3) 普通墓所、芝生墓所の広さ、合葬式墓所等に関する意向

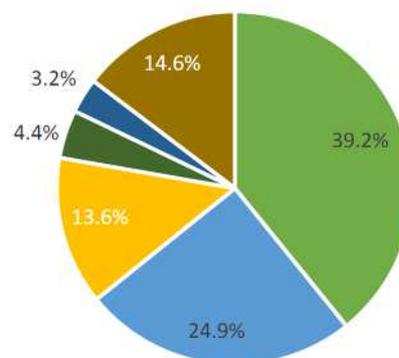
問 10 近年、墓地に対する考え方の変化、もしくは、墓地に適した土地が見つからないなどの理由から、合葬式墓所など、お墓の形状に関心が寄せられています。これについて、あなたのお考えを伺います。①は優先する項目順に 3 つ選んで下さい。また、②から⑤までは別添「参考例」から該当する記号を優先順に 3 つ選んで下さい。

① 希望するお墓についてお伺いします。

1位

合葬式墓所	577	39.2%
1.5㎡以下（約1畳）	367	24.9%
3㎡（約2畳）	200	13.6%
5㎡以上（約3.3畳）	65	4.4%
その他	47	3.2%
無回答	215	14.6%
合計	1471	100.0%

希望するお墓 1位

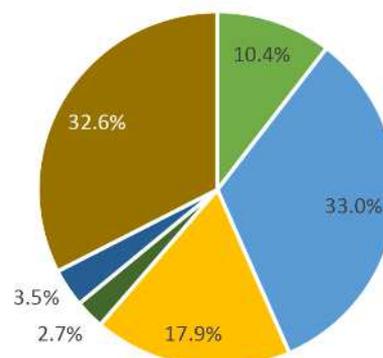


■ 合葬式墓所 ■ 1.5㎡以下（約1畳） ■ 3㎡（約2畳）
■ 5㎡以上（約3.3畳） ■ その他 ■ 無回答

2位

合葬式墓所	153	10.4%
1.5㎡以下（約1畳）	486	33.0%
3㎡（約2畳）	263	17.9%
5㎡以上（約3.3畳）	39	2.7%
その他	51	3.5%
無回答	479	32.6%
合計	1471	100.0%

希望するお墓 2位



■ 合葬式墓所 ■ 1.5㎡以下（約1畳） ■ 3㎡（約2畳）
■ 5㎡以上（約3.3畳） ■ その他 ■ 無回答

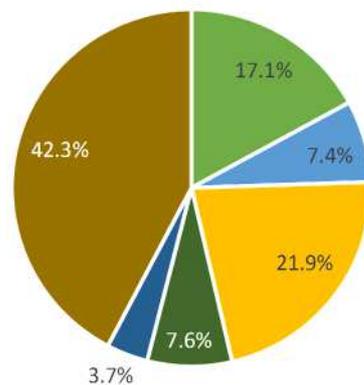
3位

合葬式墓所	251	17.1%
1.5㎡以下（約1畳）	109	7.4%
3㎡（約2畳）	322	21.9%
5㎡以上（約3.3畳）	112	7.6%
その他	55	3.7%
無回答	622	42.3%
合計	1471	100.0%

その他の記述

散骨	24
樹木、樹林型合葬	24
墓不要、廃棄	11
希望なし	5
納骨壇	3
廃棄	1
骨ダイヤ	1

希望するお墓 3位



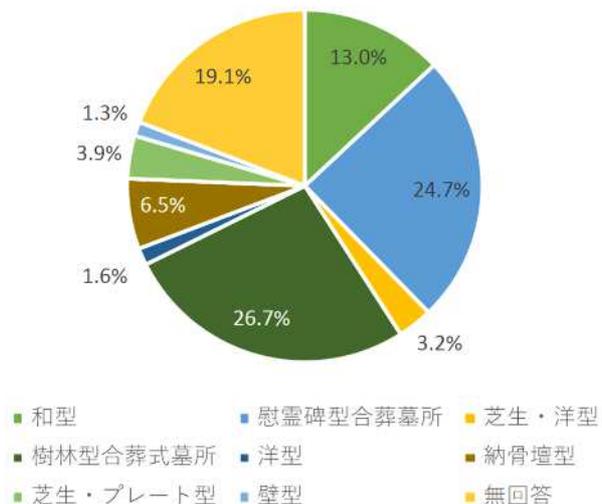
- 合葬式墓所
- 1.5㎡以下（約1畳）
- 3㎡（約2畳）
- 5㎡以上（約3.3畳）
- その他
- 無回答

② あなたに承継者がいないなどのやむを得ない理由があると仮定した場合に、あなたが利用したいと思うお墓はどれですか。

1位

和型	191	13.0%
慰霊碑型合葬墓所	364	24.7%
芝生・洋型	47	3.2%
樹林型合葬式墓所	393	26.7%
洋型	23	1.6%
納骨壇型	95	6.5%
芝生・プレート型	58	3.9%
壁型	19	1.3%
無回答	281	19.1%
合計	1471	100.0%

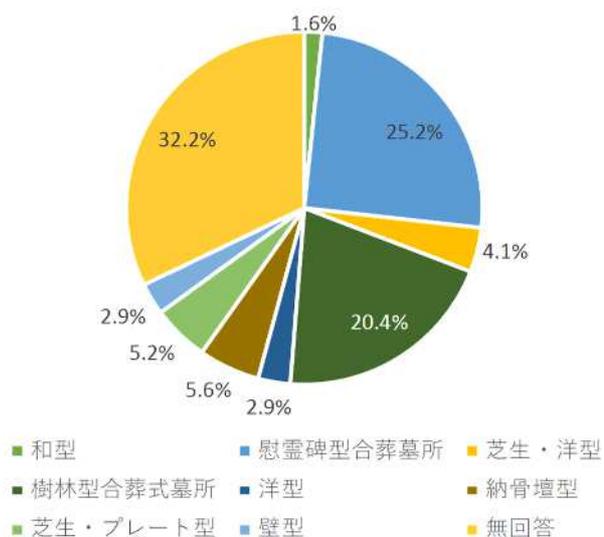
承継者がいないときに利用したいお墓（1位）



2位

和型	24	1.6%
慰霊碑型合葬墓所	370	25.2%
芝生・洋型	60	4.1%
樹林型合葬式墓所	300	20.4%
洋型	43	2.9%
納骨壇型	82	5.6%
芝生・プレート型	76	5.2%
壁型	43	2.9%
無回答	473	32.2%
合計	1471	100.0%

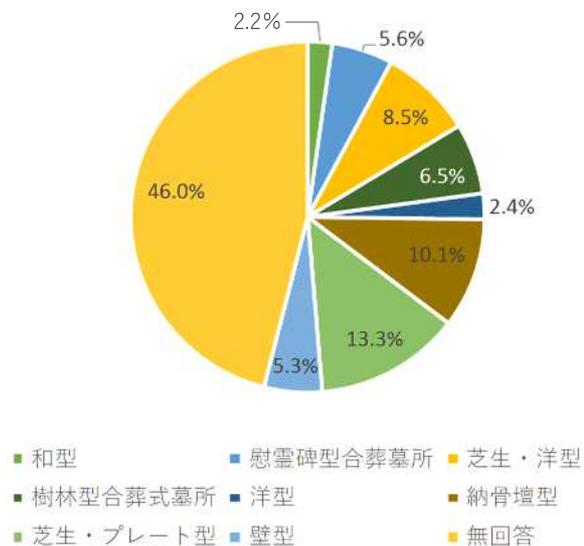
承継者がいないときに利用したいお墓（2位）



3位

和型	33	2.2%
慰霊碑型合葬墓所	82	5.6%
芝生・洋型	125	8.5%
樹林型合葬式墓所	96	6.5%
洋型	35	2.4%
納骨壇型	149	10.1%
芝生・プレート型	196	13.3%
壁型	78	5.3%
無回答	677	46.0%
合計	1471	100.0%

承継者がいないときに利用したいお墓（3位）

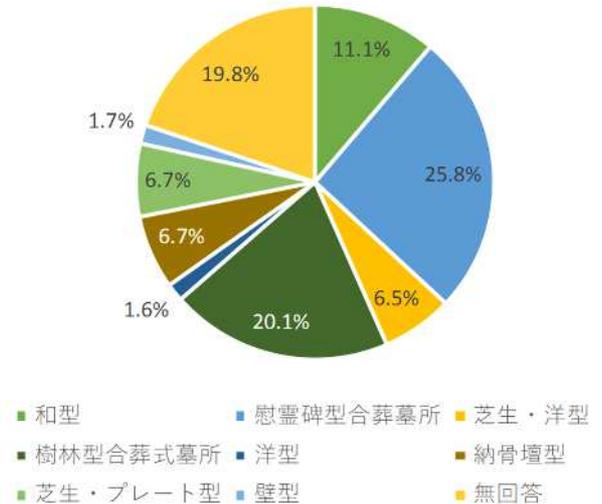


③ 今後、市は、どのようなお墓を整備していくべきだとお考えですか。

1位

和型	164	11.1%
慰霊碑型合葬墓所	380	25.8%
芝生・洋型	95	6.5%
樹林型合葬式墓所	295	20.1%
洋型	24	1.6%
納骨壇型	99	6.7%
芝生・プレート型	98	6.7%
壁型	25	1.7%
無回答	291	19.8%
合計	1471	100.0%

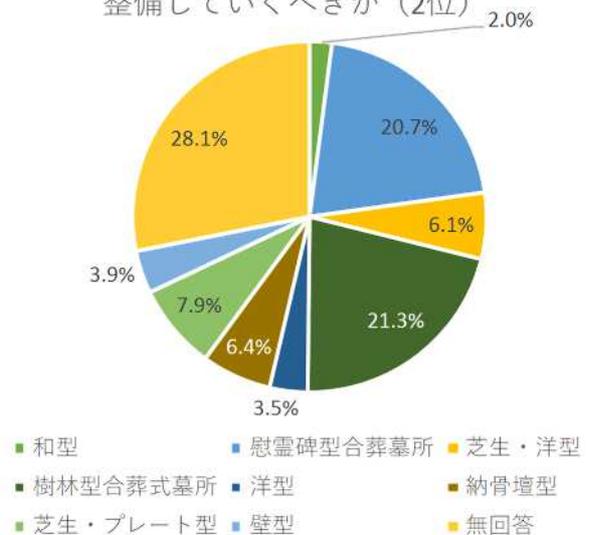
今後市はどのようなお墓を整備していくべきか（1位）



2位

和型	30	2.0%
慰霊碑型合葬墓所	305	20.7%
芝生・洋型	90	6.1%
樹林型合葬式墓所	313	21.3%
洋型	51	3.5%
納骨壇型	94	6.4%
芝生・プレート型	116	7.9%
壁型	58	3.9%
無回答	414	28.1%
合計	1471	100.0%

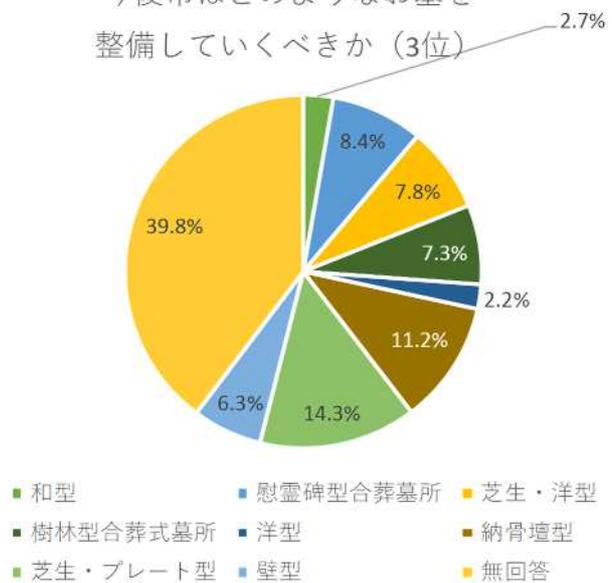
今後市はどのようなお墓を整備していくべきか（2位）



3位

和型	40	2.7%
慰霊碑型合葬墓所	123	8.4%
芝生・洋型	115	7.8%
樹林型合葬式墓所	107	7.3%
洋型	33	2.2%
納骨壇型	165	11.2%
芝生・プレート型	210	14.3%
壁型	93	6.3%
無回答	585	39.8%
合計	1471	100.0%

今後市はどのようなお墓を整備していくべきか (3位)

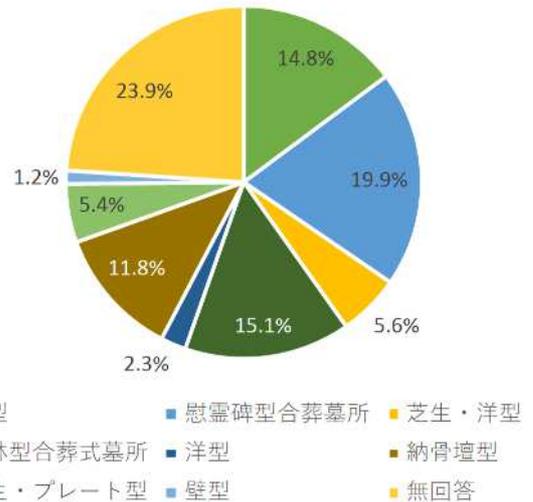


④ 「市」以外の民間（寺院等）では、今後、どのようなお墓を整備していくべきだとお考えですか。

1位

和型	217	14.8%
慰霊碑型合葬墓所	292	19.9%
芝生・洋型	83	5.6%
樹林型合葬式墓所	222	15.1%
洋型	34	2.3%
納骨壇型	174	11.8%
芝生・プレート型	79	5.4%
壁型	18	1.2%
無回答	352	23.9%
合計	1471	100.0%

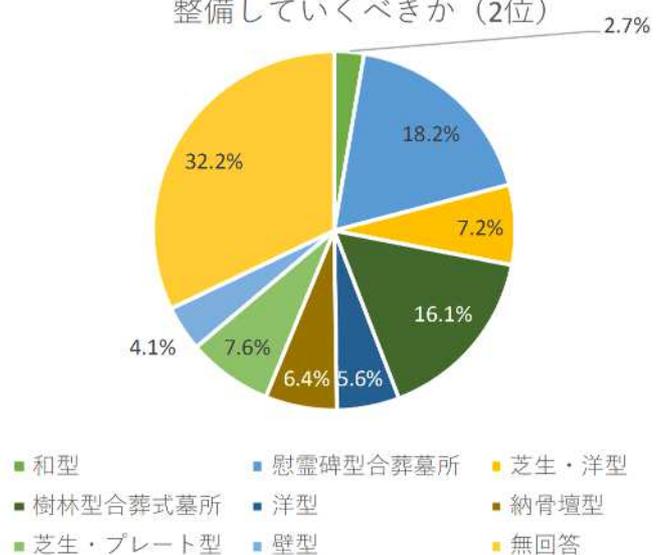
市以外の民間ではどのようなお墓を整備していくべきか（1位）



2位

和型	39	2.7%
慰霊碑型合葬墓所	268	18.2%
芝生・洋型	106	7.2%
樹林型合葬式墓所	237	16.1%
洋型	82	5.6%
納骨壇型	94	6.4%
芝生・プレート型	112	7.6%
壁型	60	4.1%
無回答	473	32.2%
合計	1471	100.0%

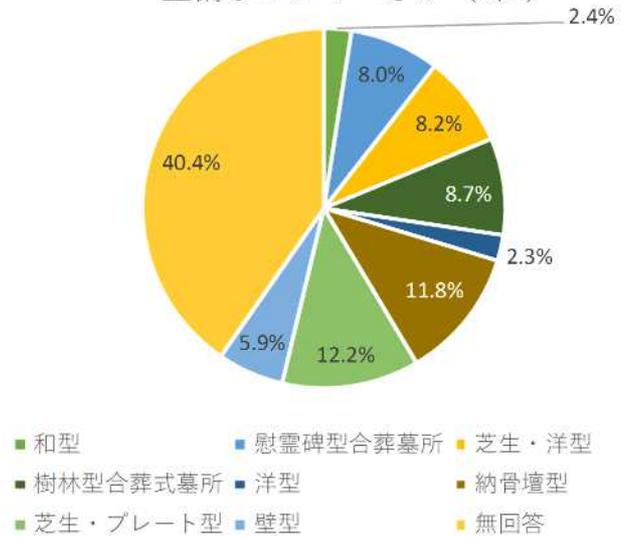
市以外の民間ではどのようなお墓を整備していくべきか（2位）



3位

和型	36	2.4%
慰霊碑型合葬墓所	118	8.0%
芝生・洋型	121	8.2%
樹林型合葬式墓所	128	8.7%
洋型	34	2.3%
納骨壇型	173	11.8%
芝生・プレート型	180	12.2%
壁型	87	5.9%
無回答	594	40.4%
合計	1471	100.0%

市以外の民間ではどのようなお墓を整備していきべきか（3位）

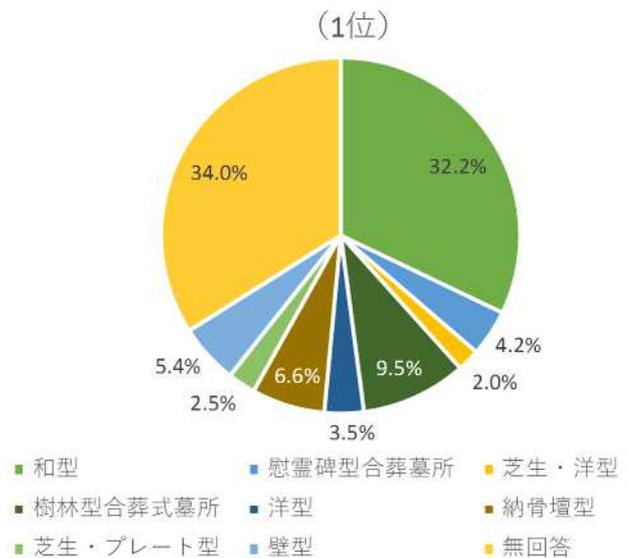


⑤ 一般的に、これからのお墓のあり方として、「望ましくないと思う」ものはどれですか。

1位

和型	473	32.2%
慰霊碑型合葬墓所	62	4.2%
芝生・洋型	30	2.0%
樹林型合葬式墓所	140	9.5%
洋型	52	3.5%
納骨壇型	97	6.6%
芝生・プレート型	37	2.5%
壁型	80	5.4%
無回答	500	34.0%
合計	1471	100.0%

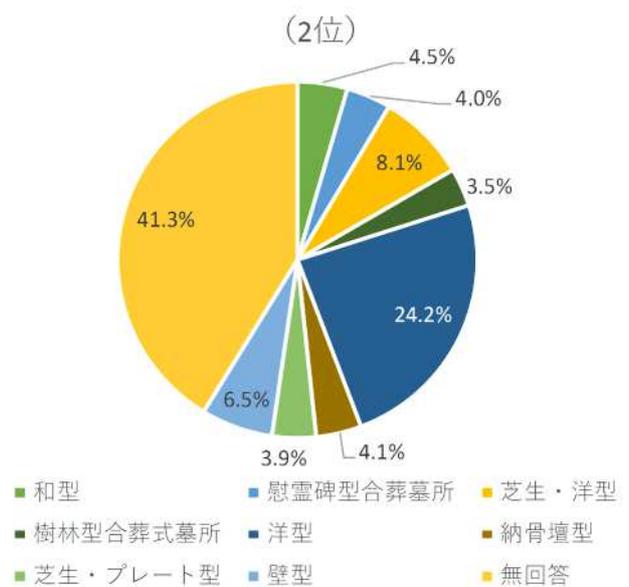
お墓のあり方として「望ましくないもの」



2位

和型	66	4.5%
慰霊碑型合葬墓所	59	4.0%
芝生・洋型	119	8.1%
樹林型合葬式墓所	51	3.5%
洋型	356	24.2%
納骨壇型	60	4.1%
芝生・プレート型	58	3.9%
壁型	95	6.5%
無回答	607	41.3%
合計	1471	100.0%

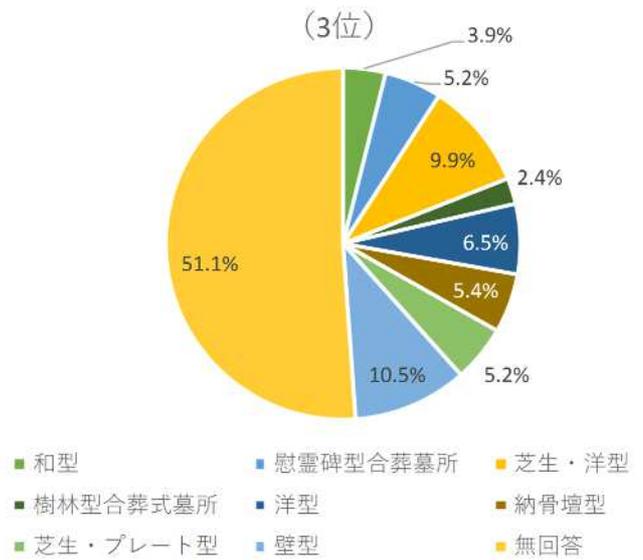
お墓のあり方として「望ましくないもの」



3位

和型	57	3.9%
慰霊碑型合葬墓所	77	5.2%
芝生・洋型	145	9.9%
樹林型合葬式墓所	35	2.4%
洋型	95	6.5%
納骨壇型	80	5.4%
芝生・プレート型	76	5.2%
壁型	154	10.5%
無回答	752	51.1%
合計	1471	100.0%

お墓のあり方として「望ましくないもの」

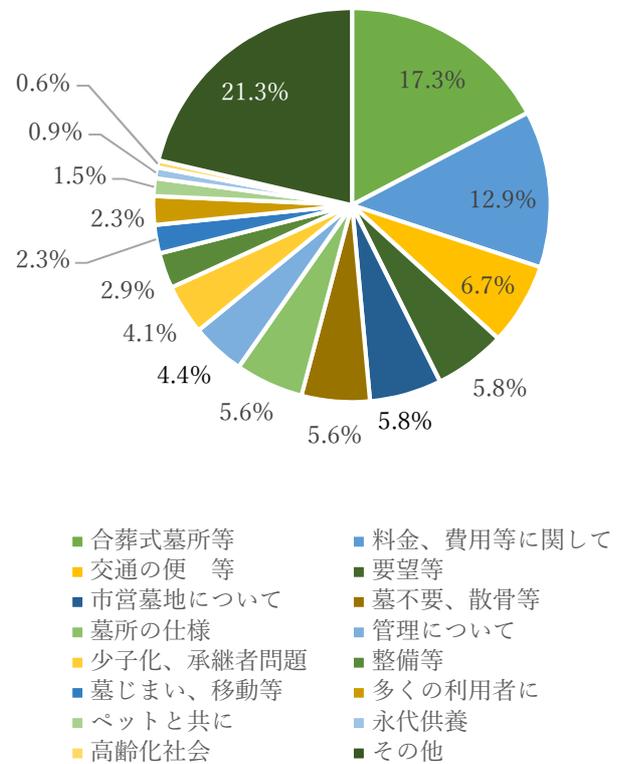


(4) 自由意見

自由記述（設問11）の記述内容による類型化

記述内容による類型化項目	件数	割合
合葬式墓所等	59	17.3%
料金、費用等に関して	44	12.9%
交通の便 等	23	6.7%
要望等	20	5.8%
市営墓地について	20	5.8%
墓不要、散骨等	19	5.6%
墓所の仕様	19	5.6%
管理について	15	4.4%
少子化、承継者問題	14	4.1%
整備等	10	2.9%
墓じまい、移動等	8	2.3%
多くの利用者に	8	2.3%
ペットと共に	5	1.5%
永代供養	3	0.9%
高齢化社会	2	0.6%
その他	73	21.3%
合計	342	100.0%

自由記述の内容の内訳



寄せられた回答については、類型化出来るものについて、上記のようにまとめた。

「合葬式墓所等」への言及が最も多く17.3%であった。また、「少子化、承継者問題」「永代供養」「高齢化社会」「墓じまい、移動等」の項目でも合葬式墓所についての記載が多くあった。そうした回答も合わせると、25.2%と、実に1/4の回答が「合葬式墓所等」に関連したものである。

※自由意見の中で複数の項目に該当しているものについては、重複して件数を集計しています。

墓地に関する市民アンケート調査

～ ご回答にあたっての注意 ～

○ お答えは、この調査票に直接ご記入の上、同封の返信用封筒に入れてご返送下さい。

問1 あなたご自身について伺います。該当する項目に○または数字をご記入ください。

- ① 年代
(1) 50代 (2) 60代 (3) 70代 (4) 80代以上
- ② (兄弟・姉妹の中で) 続柄 (男性は (1) または (2)、女性は (3) または (4) のどちらかをご回答下さい。
(1) 長男 (2) 長男以外 (3) 長女 (4) 長女以外 (5) 答えたくない
- ③ 同居している方の人数 (自身を含めず)
(1) 0人 (2) 1人 (3) 2人 (4) 3人
(5) 4人 (6) 5人以上
- ④ あなたからみた同居している方の続柄であてはまるものすべてに○をして下さい。(③で「0人」とお答えいただいた方は除きます)
(1) 夫 (2) 妻 (3) 子(男子) [] 名 (4) 子(女子) [] 名
(5) その他 (具体的にご記入下さい)
[]
- ⑤ 居住地域
(1) 緑区 (2) 中央区 (3) 南区
- ⑥ 市内居住年数
(1) 5年未満 (2) 5年以上10年未満 (3) 10年以上20年未満
(4) 20年以上
- ⑦ 定住意向
(1) 市内に住み続けたい (2) 市外に転出する予定がある
(3) 将来的には市外に移りたい (4) 分からない

問2 お墓の承継についてのあなたの立場を伺います。該当する項目に○をつけて下さい。

- (1) お墓を承継する立場にある (2) お墓を承継する立場にない
(3) わからない (4) その他 (具体的にご記入下さい)
[]

問3 あなたの世帯ではお墓をお持ちですか。該当する項目に○をつけて下さい。

- (1) 市内に所有している (2) 市外に所有している (3) 所有していない
→問4へ →問4へ →問5へ

② どのように運用されている墓地を選びますか。優先順に3つ選んで下さい。

(1) 公営墓地 (2) 寺院教会等境内墓地 (3) 民営(宗旨・宗派を問わない)墓地 (4) その他(具体的にご記入下さい)

[]
回答欄 1位 [] 2位 [] 3位 []

③ どのようなお墓の形状を希望しますか。別添「参考例」から該当する記号を優先順に3つ選んで下さい。

回答欄 1位 [] 2位 [] 3位 []

④ お墓を必要とする時期はいつ頃ですか。該当する項目に○をつけて下さい。

(1) 2年以内 (2) 5年以内 (3) 10年以内 (4) 時期は決めていない

問7 あなたはどのような人と一緒にお墓に入りたいとお考えですか。該当する項目に○をつけて下さい。

(複数回答でも構いません)

(1) 配偶者 (2) 身近な家族 (3) 先祖 (4) 単独
(5) 友人 (6) こだわらない (7) 墓に入るつもりはない
(8) その他(具体的にご記入下さい) []

問8 お亡くなりになった親族の方の遺骨をお墓に納める必要が生じた場合について伺います。

① 親族の方の遺骨を納める場合のお墓の形状はどれを希望しますか。

回答欄 1位 [] 2位 [] 3位 []

※別添の「参考例」から該当する記号を優先順に3つ選んで下さい。

② 別添「参考例」に希望するものがない場合には、その遺骨はどうされますか。

(1) 自宅で安置する (2) 散骨する (3) その他(具体的にご記入下さい)

[]

問9 あなたがお墓を選ぶ際に考慮する点はどれですか。優先順に3つ選んで下さい。

(1) 交通の利便性 (2) 自宅からの距離 (3) 管理状況
(4) 価格 (5) お墓の一区画あたりの面積 (6) 墓地周辺の環境
(7) その他(具体的にご記入下さい)

[]
回答欄 1位 [] 2位 [] 3位 []

問 10 近年、墓地に対する考え方の変化、もしくは、墓地に適した土地が見つからないなどの理由から、合葬式墓所など、お墓の形状に関心が寄せられています。これについて、あなたのお考えを伺います。①は優先する項目順に3つ選んで下さい。また、②から⑤までは別添「参考例」から該当する記号を優先順に3つ選んで下さい。

① 希望するお墓についてお伺いします。

(1) 合葬式墓所 (2) 1.5㎡以下(約1畳) (3) 3㎡(約2畳)

(4) 5㎡以上(約3.3畳) (5) その他(具体的にご記入下さい) []

回答欄 1位 [] 2位 [] 3位 []

② あなたに承継者がいないなどのやむを得ない理由があると仮定した場合に、あなたが利用したいと思うお墓はどれですか。

回答欄 1位 [] 2位 [] 3位 []

③ 今後、市は、どのようなお墓を整備していくべきだとお考えですか。

回答欄 1位 [] 2位 [] 3位 []

④ 「市」以外の民間(寺院等)では、今後、どのようなお墓を整備していくべきだとお考えですか。

回答欄 1位 [] 2位 [] 3位 []

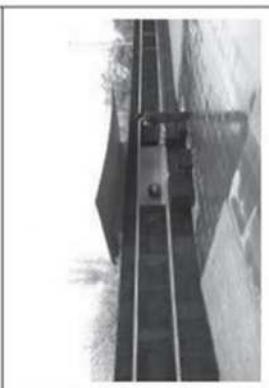
⑤ 一般的に、これからのお墓のあり方として、「望ましくないと思う」ものはどれですか。

回答欄 1位 [] 2位 [] 3位 []

問 11 その他、今後の相模原市の墓地整備について、ご意見等ございましたら、ご記入下さい。

質問は、以上で終わりです。ご協力、ありがとうございました。

恐れ入りますが、回答がお済になりましたら、この調査票を同封の返信用封筒に入れて1月25日(水)までにポストへ投函して下さい。(切手は不要です)

○1	<p>「和型」埋蔵施設 伝統的な縦長の形状のお墓です。上の芋石から、天（家庭円満）、人（人望・出世）、地（財産維持）を表しています。</p> <p>参考費用 200～300万円 年間管理料 有り</p>	
○2	<p>「慰霊碑型合葬式墓所」埋蔵施設 個人の家のお墓ではなく、多数の方が隔てなく納骨され、共同で祀られるお墓で、慰霊碑を墓標とするものです。</p> <p>参考費用 5～20万円 年間管理料 無し</p>	
○3	<p>「芝生・洋型」埋蔵施設 芝生の上建つ洋型のお墓の形状です。</p> <p>参考費用 50～100万円 年間管理料 有り</p>	
○4	<p>「樹林型合葬式墓所」埋蔵施設 2と同じく個人の家のお墓ではなく、多数の方が隔てなく納骨され、共同で祀られるお墓で、シンボルツリーや花を墓標とするものです。自然環境を生かした演出が成されています。</p> <p>参考費用 5～20万円 年間管理料 無し</p>	

○5	<p>「洋型」埋蔵施設 明るく現代的なデザインのお墓です。</p> <p>台石に安定感があり、彫刻などでオリジナリティを表すことができます。</p> <p>参考費用 200～300万円 年間管理料 有り</p>	
○6	<p>「納骨壇型」埋蔵施設 ロッカー式や自動搬送式の納骨壇に遺骨を取蔵するもの。</p> <p>寺院などが設置しているものは、仏壇型になっているものもあります。</p> <p>参考費用 1体50万～150万円 年間管理料 有り</p>	
○7	<p>「芝生・プレート型」埋蔵施設 銘々された石版が芝生に設置されたお墓の形状です。</p> <p>参考費用 30～80万円 年間管理料 有り</p>	
○8	<p>「壁型」埋蔵施設 壁面に設けられた形状のお墓です。</p> <p>納骨後、名前などを刻んだプレートをはめ込む場合が多いです。</p> <p>参考費用 50～100万円 年間管理料 有り</p>	

出典

- 改定 市営峰山霊園整備計画 基本構想（平成 15 年 3 月）
- 平成 19 年度 相模原市営霊園整備調査報告書（平成 20 年 3 月）
- 相模原市市営墓地の在り方検討委員会報告書（平成 25 年 3 月）
- 平成 25 年度 相模原市営霊園整備調査報告書（平成 26 年 3 月）
- 令和 4 年度 相模原市墓地需要調査報告書（令和 5 年 3 月）

相模原市市営墓地基本計画改定版

令和 年 月

相模原市環境経済局公園課

相模原市中央区中央2-11-15

電話042-754-1111（代）